



KYUSHU UNIVERSITY LIBRARY

Annual Report 2011/2012

九州大学附属図書館年報 2011/2012



附属図書館長
川本 芳昭

九州大学附属図書館の現況と将来

九州大学附属図書館は従来の路線を踏まえつつ、昨年度も活発な活動を展開してまいりました。

23年4月に、質の高い教材を開発し大学教育の質的向上を図るため設置した附属図書館付設教材開発センターは、着実にそのコンテンツの集積を実現しつつありますが、本年度には新たな教員が配置され、さらなる展開が期待されています。

また、23年度より2年間の計画で、ライブラリーサイエンス専攻および教材開発センターと「ICTによる自律的学習・教育体制の構築」プロジェクトを推進していますが、これも本館、ライブラリーサイエンス、教材開発センターの協働の一端を象徴しており、大学図書館の新たなあり方へ向け、さらなる協働、融合が期待されます。

最近の特記すべきこととしては、24年1月、世界中の膨大かつ多様な学術情報資源から有用なコンテンツを迅速に見つけ・アクセスできる、ディスカバリ・サービスの運用を開始したこともあげられます。このサービスが今後、信頼度の高い学術情報の検索に大きな力を発揮してゆくことが期待されます。

国・公・私27館の参加を得て22、23年度にわたり実施されたLibrary Lovers'も着実な成果を上げ、今年度以降は九州地区図書館協議会の事業として位置づけられることとなりました。

また、29年度、伊都キャンパスに開館予定の新中央(文系)図書館(仮称)については、その基本計画策定が関係部局や附属図書館での委員会において検討されてまいりましたが、今年新たに全学の組織である文系地区基本設計検討コアチームが立ち上がり、活動を開始致しました。

本館はこれまで人類の知の集積につとめ、学内外の研究・教育の支援を行ってまいりました。この点は、今後も確固として堅持、発展させてゆくべきものであります。また最近のインターネットの普及に象徴される情報化・グローバル化の潮流に対して、本館は上でその一端を紹介したように果敢に対応し、そのあり方の全面的な再構築と将来展望を踏まえた発展を図ってまいりました。それは、書籍・情報の電子化の流れに対応する、機関リポジトリや独自の検索システムの構築、あるいは、情報化教育の主体を担う図書館としての活動の推進、内外の変容に対応するライブラリーサイエンス専攻や教材開発センターの設置といった形で実現されてきております。

今後もこれまでの方針と実績を踏まえ、その指針を堅持しつつ、さらに発展させてゆく所存ですが、その際、喫緊の大きな課題として、上で一部ご紹介した伊都への移転にともなって計画されている中央図書館の移転を「成功」させることがあげられます。これは単なる移転ではなく、それが今後100年の九州大学における研究・教育・情報面での一つの大きな核であり、枠組みとなるとの認識のもと、その建造物、設備、配置の慎重な検討、既に伊都に存在する理系図書館との緊密な連携の構築等につとめ、移転後の図書館が世界の大学図書館の中でトップクラスの位置を占めるものとなるよう、努力を傾注しているところです。

世界における書籍などの電子情報化の流れは、今後も一層広範に深く進行するでしょう。本館はそうした動きへ大学図書館の牽引役として活動してきておりますが、その際、科学技術・学術審議会の学術情報基盤作業部会の審議のまとめが提示するサブジェクト・ライブラリアンなど図書館職員の質の一層の向上・育成は極めて重要なものと考えられます。本館は今後こうした事柄にも努力を傾注してゆく所存です。

Topics

ディスカバリ・サービスの運用開始

24年1月、世界中の膨大かつ多様な学術情報資源から有用なコンテンツを迅速に見つけ・アクセスできる、ディスカバリ・サービスの運用を開始しました。

グローバルな学術情報への入口となるCute.Searchと、九州大学の知的資産を包括的に検索できるCute.Catalogの2つがシームレスに結びついている点が特長です。最新のWeb技術の採用によって直感的なインターフェースを実現するとともに、表紙画像や概要・目次情報、関連する文献、被引用文献へのリンクなどを表示することで、必要なコンテンツがより発見しやすくなりました。

ディスカバリ・サービスによって有用な学術コンテンツの発見から入手までをスムーズにナビゲートすることで、学習・教育・研究の効率を高めるとともに、学内外から求められつつある大学内の知の集積と、その発信をめざします。

◆Cute.Search

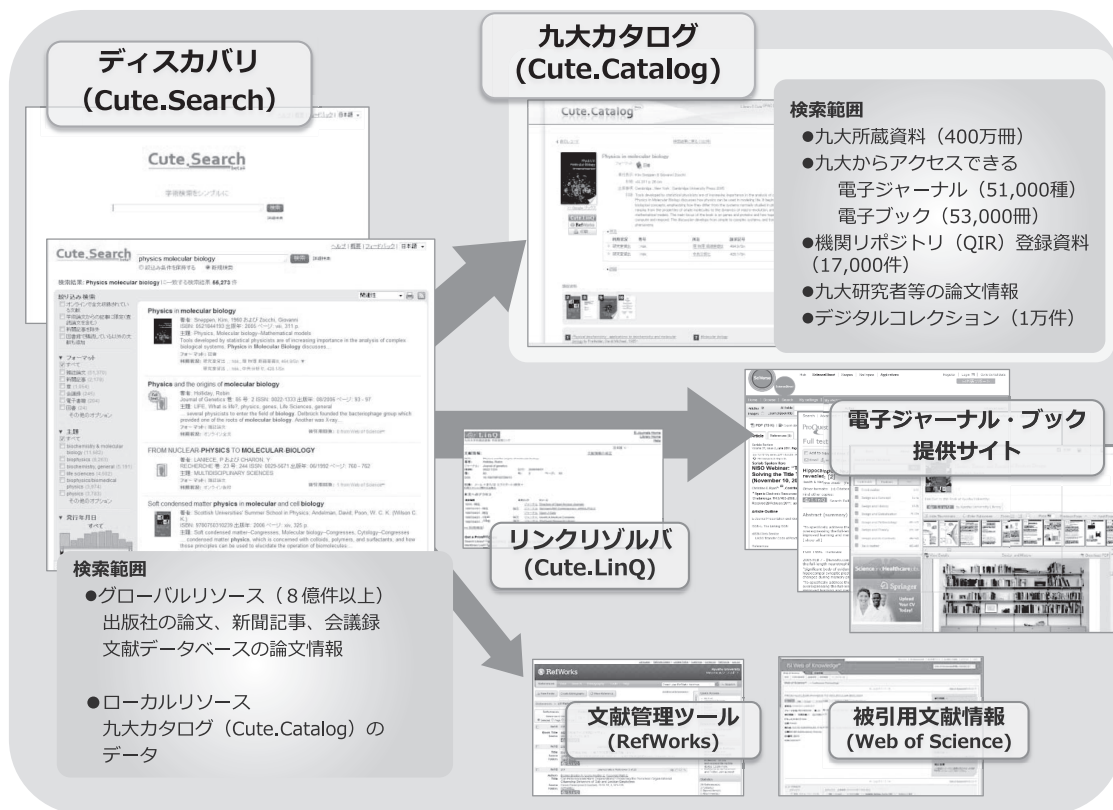
<http://search.lib.kyushu-u.ac.jp>

約8億件のグローバルな学術情報資源とともに、学内の蔵書の所在情報、利用契約のある電子ジャーナル・電子ブックの情報をも一度に検索できるシンプルな検索サービスです。

◆Cute.Catalog

<http://catalog.lib.kyushu-u.ac.jp>

冊子の所蔵資料のほか、電子ジャーナル・電子ブック、本学機関リポジトリの登録資料、本学研究者が執筆した論文情報、デジタルコレクションなど、本学の学術情報資源が検索可能です。米国のオープンソース・プロジェクトであるeXtensible Catalogに本学も参画して開発されました。Amazonレビューが表示されるほか、TwitterやFacebookなどのソーシャル・メディアとも連携しています。



iPad 貸出サービス開始

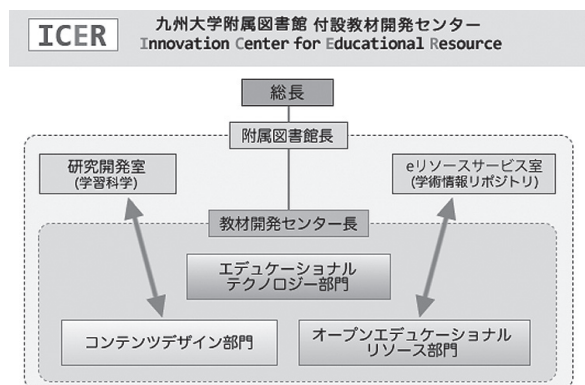
タブレット型端末をはじめとする新しいデバイスを活用した図書館サービスの可能性を探るため、iPad17台を導入し、半年の試行期間を経て、23年1月より中央図書館内での貸出サービスを開始しました。

当初電子書籍の利用などを想定していましたが、アンケートや利用状況からは、パソコンの代替や手軽な情報端末として、あるいはグループ学習におけるツールとして多く活用されているようです。

付設教材開発センターを設置

23年4月、九州大学では、質の高い教材を開発し、大学教育の質的向上を図るため、附属図書館付設教材開発センターを設置しました。教材開発センターでは、教員の教材作成支援を行うほか、センター独自でもインストラクショナルデザインに基づいた教材や教育方法の開発と提案を行うなど、様々な活動に取り組みます。

このような取り組みにより、協調型・学生主導型学習を推進することで、学生の自律的な学習と実践力を育成する教育技術の普及と促進を行い、新時代の教育技術を社会的に還元し、優秀な若手人材の育成に貢献することを目指しています。



留学生支援・留学支援の新たな取り組み

近年の留学生の著しい増加を受け、図書館でも留学生支援に力を入れています。23年度は、新入留学生向け図書館ツアー(英語/日本語)のほか、英語によるデータベースの利用説明会、学生課程国際コース対象の大学図書館活用セミナーなど、講習会に重点をおいて取り組みました。また、23年10月の図書館ツアーでは、併せて企画した先輩留学生とのランチアワーが好評で、参加した新入留学生がその後積極的に図書館を利用する姿も見られています。

留学生のプログラムや学年、日本語習得度等に応じた効果的な学習支援のあり方を探っていくことが今後の課題です。

一方、日本人の留学支援として、国際部の協力の下、交流協定校の情報や留学関係図書、TOEIC等の参考書等を配置した留学情報コーナーをリフレッシュルームの一画に整備しました。また、同室では、学生の留学経験者による留学相談ランチアワーが定期的を実施され、留学を考えている学生との活発な交流が行われており、国際部・学生有志・図書館との有機的な連携による、留学支援の新しい取り組みとなっています。



教育の質向上支援プログラム(EEP)「ICTによる自律的学習・教育体制の構築」

学内の「教育の質向上支援プログラム(EEP)」の予算措置を受け、23年度より2年間の計画で、統合新領域学府ライブラリーサイエンス専攻および付設教材開発センターと「ICTによる自律的学習・教育体制の構築」プロジェクトを推進しています。

23年度は、教職員向けインストラクショナル・デザイン研修、教員や学生のニーズ調査、eラーニング教材の開発や、それらのモバイル・デバイスでの利用促進などの取り組みを行いました。

また、24年3月から図書館学習サポーターを雇用し、学生と協働で図書館の学習支援機能をより強化する取り組みを始めています。学習サポーターは、レファレンスカウンターで学習やパソコン操作についての相談を受けたり、講習会のサポートを行います。今後は各サポーターの個性を活かしながら新たなサービスや企画を展開し、図書館と学生との相互作用で効果的な学習支援を目指します。



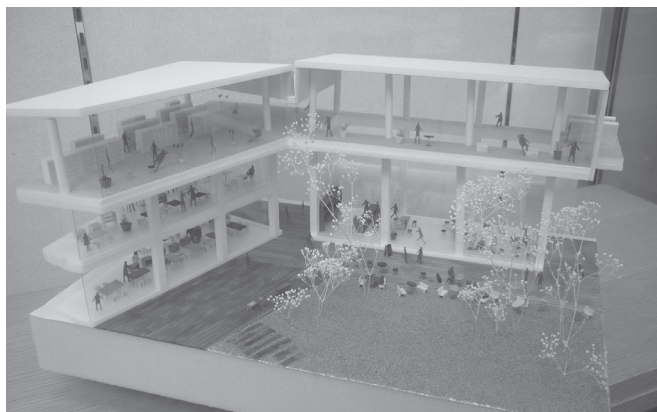
図書館学習サポーター

Topics

人間環境学府空間システム専攻の大学院生による新中央(文系)図書館(仮称)の設計

人間環境学府空間システム専攻(建築学)の大学院生が、演習「建築デザインスタジオ」の課題として29年に伊都キャンパスに建設予定の新中央(文系)図書館(仮称)(以下「新中央図書館」)の設計に取り組みました。図書館職員が新中央図書館が果たすべき役割と大学図書館の現状についてレクチャーを行ったほか、建物のユーザー(クライアント)という一般のユーザーとは異なる視点で、設計者である学生と活発なディスカッションを行うなど、大学院教育の場に積極的に参加しました。

製作された模型のうち3作品は中央図書館と伊都図書館で展示され、異なる分野の多くの学生・教員の目にふれることで、設計者の学生にとって大きな刺激となったようです。また、広報誌「きゅうとNewsletter」のVol.6 No.4(24年1月発行)でも特集としてこの作品を取り上げ、模型に込められた学生たちの図書館への想いを紹介しました。一方図書館職員もこの企画を通じ現在進行中の新中央図書館計画へのさまざまなヒントを得ることができました。



新中央(文系)図書館(仮称)建設に向けた動き

附属図書館では29年度に伊都キャンパスに開館予定の新中央(文系)図書館(仮称)(以下「新中央図書館」)の基本計画を策定するために、関係部局や学内共同施設等の教員からなるワーキンググループ(以下「WG」)を設置して検討を行っています。

23年度はWGと職員のチームと合同で新中央図書館へのニーズ調査(アンケート)の実施と分析に取り組み、分析結果を盛り込んだ基本計画「施設・設備の基本コンセプト」「施設・設備に関する基本的要件」をまとめ、アンケートの報告書とあわせてWGの上位組織である新中央(文系)図書館検討専門部会に提出しました。

24年度には大学全体で伊都キャンパスの文系地区の基本設計が行われ、新中央図書館についてもキャンパス内での配置をはじめとしてより具体的検討が行われる予定です。附属図書館では今回のアンケート結果の分析や図書館内での利用者の動態調査などを参考に、関係各部局とも協議しながら新中央図書館の諸室計画や資料収蔵計画を検討していきます。

ILL 私費サービスの拡充

23年6月から学内キャンパス間のILL私費サービスを開始しました。これにより、従来から提供しているキャンパス間図書配送サービスとともに、雑誌論文コピーも他キャンパスから取り寄せが可能となり、学生への

ILLサービスが格段に向上しました。

また、海外ILL私費サービスも23年5月から試行運用を開始し、運用方法の検証を経て、24年度から本運用に移行する予定です。

「第4回中国・四国・九州・沖縄地区大学図書館職員フレッシュパーソンセミナー」を開催

中国四国地区国立大学図書館協会と九州地区国立大学図書館協会との共催により、九州大学附属図書館において、23年9月15日～16日の2日間にわたって「第4回中国・四国・九州・沖縄地区大学図書館職員フレッシュパーソンセミナー」を開催しました。これは図書館に採用されて4年以内の国公私立の大学職員を対象として、大学図書館職員のスキルアップおよび人的ネットワークの形成を図ることを目的としており、中国四国地区および九州地区の大学図書館職員35名が受講しました。

セミナーでは、これから図書館職員として活動していく上で基本となるテーマについて講義が行われたほか、ワークショップ形式で行われたグループ討議では、それぞれ与えられたテーマについて各大学の事例や取り組みをもとに活発な議論が展開されました。グループ討議や

懇親会を通して、受講生同士、また受講生と講師の意見交換も積極的に行われ、大変充実したセミナーとなりました。



インターンシップおよび職場体験実習を実施

◆大学生のインターンシップ受入

23年度に設置された統合新領域学府ライブラリーサイエンス専攻(LSS)から、インターンシップの院生1名を受け入れました。図書館からカリキュラムを複数提案して、その中から受講生が選ぶ形式を取り、23年度は「レファレンスサービスの向上に向けて」というテーマでレファレンスカウンター実習やレファレンスの事例調査を行い、最後に九州大学のレファレンスサービスに必要な能力や人材についての提案を発表してもらいました。

また、本学の全学教育科目「九大インターンシップ」、および愛知淑徳大学から図書館実習の学生各1名を受け入れました。2週間にわたり図書館の各係の業務体験、フレッシュパーソンセミナー(上記参照)の聴講などをしてもらいました。

カリキュラムのうちいくつかは、LSSと学部生のインターンシップの合同で行いました。異なる大学・学科の学生が同じ作業をする中で、さまざまな刺激もあったようです。

◆中学生の職場体験実習

中央図書館において、実際に職場で仕事を体験することを通して将来の職業選択に役立てることを目的とした、中学生の職場体験学習を受け入れました。

福岡市立松崎中学校2年生 2名(H23.9.13～15)
福岡市立和白丘中学校2年生 3名(H24.1.24～26)

中央図書館で防災訓練を実施

23年9月27日、消防署及び防災関係業者の協力の下、中央図書館にて防災訓練を実施しました。緊急時対応についてのレクチャー、避難器具模擬訓練に引き続き行われた避難誘導訓練では、地震による火災が発生したという設定の下、職員で構成する自衛消防隊の誘導に従い、館内の利用者も全員避難しました。

利用者も参加する大規模な避難誘導訓練を行ったのは初めてで、東日本大震災後ということもあり、避難完了まで緊迫した空気の中で行われました。

東日本大震災被災学生等への支援

23年3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震により、東北から関東にかけて甚大な被害をもたらした東日本大震災において、いち早く被災地の皆様へのお見舞いとともに附属図書館等の施設利用など、九州大学は全力で支援を行う旨の総長メッセージが発信されました。

附属図書館では、直ちに各館・室で歩調を合わせ、被災地域大学の

学生、入学予定者や研究者を対象に、本学構成員と同等のサービスを利用できることをホームページで広報しました。その結果、緊急帰省等、震災のため福岡(近隣)に滞在せざるを得なくなった東北、関東地域の学生等16名の利用がありました。

展示会・講演会 Exhibition & Seminar

九州大学百周年記念行事 第52回附属図書館貴重文物展示「九州大学百年の宝物—附属図書館貴重資料コレクション—」

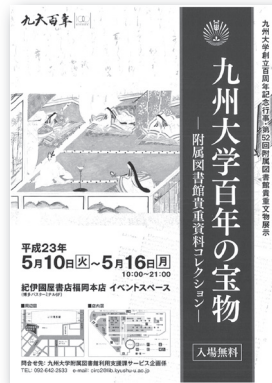
【期 間】平成23年 5月10日(火)～5月16日(月) 10:00～21:00
 【会 場】紀伊國屋書店福岡本店 イベントスペース(博多バスターミナル 6F)
 【主 催】九州大学附属図書館
 【来場者】874名

例年、中央図書館内で開催している貴重文物展示会を、平成23年度は博多駅すぐそばに会場を移して行いました。

今回は、九州大学創立百周年を記念して、23年2月に刊行された『九州大学百年の宝物』に掲載されているコレクションから、附属図書館が所蔵するコレクション、文庫を代表する資料約30点を展示しました。

図書館の貴重資料を厳選した内容に、来場した方々からは「圧巻だった」「九大図書館にこんな資料があるとは知らなかった」との声が聞かれ、なかでも特に、挿絵の美しい「源氏物語歌絵」や、「今昔・福博絵図」、炭鉱関係資料などの福岡に関する資料が注目を集めました。書店や近隣に来たついでに立ち寄られた方も多く、来場者数は例年の倍近くとなる大盛況でした。

本展示会により、九州大学附属図書館の所蔵する多様な分野にわたる膨大な量のコレクションをより広く多くの方に知っていただく機会となりました。



Library Lovers'キャンペーン2011

【期 間】平成23年10月12日(水)～11月15日(火)
 【会 場】各キャンパスの図書館・室

22年度に引き続き、学生の図書館利用促進と読書推進、および、イベントを企画運営することによる若手図書館職員のスキル向上を目的として、九州地区大学図書館共同キャンペーン「Library Lovers'キャンペーン」を実施しました。

九州大学附属図書館では、九州地区合同イベントの「図書館が森になる?!～育てよう、読書の木～」(「葉っぱ」)の形をした台紙に読んだ本のコメントを書き、館内に掲示した「木の幹」に貼り付けていくことで「読書の木」を育てるもの)のほか、以下の本学オリジナルイベントを実施しました。

●私の本棚

ちょっと気になる先生の本棚。各分野のユニークな先生方の研究室を訪問して本棚を撮影、写真パネルとともに先生のおすすめ図書を展示。

●ビブリオバトル@九大

シンプルに5分間の語りだけで本を紹介する「知的書評合戦ビブリオ

バトル」を中央図書館(10月28日)と九大祭(11月19日)にて実施。登壇者には学生だけでなく、教員、図書館員も参加。

●本のリユース ～私の本を、あなたの本に～

読み終わった本で、「他の人にも読んでもらいたい」本の交換場所を設置。好評につき24年2～3月にも実施しました。



合同キャンペーンポスター



私の本棚

学術標本・貴重資料パネル展

【期 間】平成23年5月7日(土)～5月30日(月)
 【会 場】福岡空港ビル国内線第3ターミナルビル1階ロビー
 【主 催】九州大学

福岡空港ビルにて、九州大学総合研究博物館と合同でパネル展示を行いました。

附属図書館からは「蒙古襲来絵詞」「源氏物語歌絵」等の貴重資料の紹介パネルを展示しました。会場は到着ロビーに近く、福岡に降り立った方や出迎えの方が足を止めて見入る姿が見られ、福岡の玄関口ならではの、県外、海外の方々にも広くPRする機会となりました。



九州大学創立百周年記念講演会「新しい時代の情報図書館学へ向けて」

【日 時】平成23年6月11日(土) 15:00~17:30
【会 場】九州大学中央図書館 4階視聴覚ホール
【主 催】九州大学
【企 画】文学部/大学院統合新領域学府ライブラリーサイエンス専攻
/附属図書館
【参加者】146名

国立国会図書館の長尾真館長をお招きし、電子書籍をはじめとする多様な情報基盤サービスが広がりを見せる新時代における、これからの図書館と図書館学のあり方についてご講演いただきました。

講演では、図書館や書籍の情報化の本質について、包括的、かつ明快に論じられる一方で、大学を初めとする教育の現場での活用や、話題の電子書籍配信サービスについても言及され、新しい発想による情報図書館のあり方が展望されました。講演後の質疑応答では、国立国会図書館のあり方から、自然言語処理についての技術的な問題に至る多彩な問題が提起されましたが、長尾館長の明快なご対応に、参会者一同、蒙を啓かれました。

今回の講演会では、長尾館長のご講演に加えて、有川総長による、九州大学における図書館や教育の改革の意義についての講演を設け、九州大学創立記念の行事にふさわしい講演会となりました。

また、ライブラリーサイエンス専攻の入試説明会を同時に開催されま

した。会場にブースを設けて、入試や教育に関する質問に、専任教員、事務員に加えて、現役学生も対応しました。

【プログラム】
15:00-15:05 開会挨拶(高木彰彦 文学部長)
15:05-15:25 九州大学総長挨拶(有川節夫 九州大学総長)
15:30-17:15 講演「新しい時代の情報図書館学へ向けて」
長尾真氏(国立国会図書館長)
17:15-17:30 質疑応答・ディスカッション
17:30 閉会挨拶(川本芳昭 附属図書館長)



長尾真 国立国会図書館長

常設展示

中央図書館2階常設展示コーナーにて、23年度は以下の展示を行いました。

● Islamic Culture :イスラム文化に親しむ(H23.4.19~5.31)

九州大学ムスリム学生会の主催で中央図書館にて開催した「イスラムウィーク」に関連して、コーランやイスラムの衣装、絨毯等を展示してイスラム文化を紹介。(学生による企画)

● 山本作兵衛と炭鉱の記憶(H23.6.14~7.31)

世界記憶遺産登録を記念して、付設記録資料館の所蔵する山本作兵衛オリジナルの原画とともに、同館の炭鉱関係資料(炭鉱で生きる人々の写真、採炭道具等)を展示。



● 次の百年を担う図書館へ:建築学科の学生による新しい図書館の設計(H23.8.05~11.23)

本学人間環境学府空間システム専攻(建築)の学生が、実習「建築デザインスタジオ」の課題として設計した図書館の建築模型を展示。

● 理学部コミュニケーションパーティ「Quricon」活動紹介(H23.11.24~H24.1.17)

理学部の研究室や学科の垣根を越えた交流を行っている「Quricon」(キュリコン)の活動紹介。館内で開催されたイベントとの連動企画として実施(学生による企画)

● 資料にみる「平清盛」(H24.1.18~3.30)

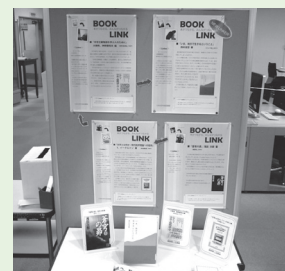
NHK大河ドラマ『平清盛』にちなんで、『平家物語』等の所蔵資料を展示。また平清盛が生きた時代の歴史と福岡との関わりをパネルで紹介。

【新企画】BookLink ~本がつながる、みんながつながる~

<http://www.lib.kyushu-u.ac.jp/booklink/>

23年9月、学生によるおすすめ図書の紹介リレー「BookLink ~本がつながる、みんながつながる~」をスタートしました。1人1冊紹介したら次に本を紹介してくれる友達や先輩後輩にバトンタッチ。おすすめ図書のバトンを友達の輪でつないでいくものです。紹介された図書は中央図書館2Fロビーに展示するほか、web本棚サービスのブックログ(URL: <http://booklog.jp/users/booklink>)にも掲載しています。

24年3月末時点で、キャンパスを超えて様々な学部・学府の学生11人がバトンをつなぎました。館内の展示に立ち止まって見る利用者も多く、注目を集めています。また紹介された図書の貸出数も増え、大変好評です。



展示会・講演会 Exhibition & Seminar

学術情報セミナー「学術情報サービスの今とその先に見えるもの」

【日 時】平成23年6月28日(火) 13:00~17:00
 【会 場】九州大学中央図書館 4階視聴覚ホール
 【主 催】九州大学附属図書館
 【後 援】九州地区大学図書館協議会、株式会社サンメディア
 【参加者】102名

さまざまな学術情報が大量に生産・発信される現在では、その流通方法についても、学術雑誌や学術書籍などの紙媒体、リポジトリをはじめとするインターネットにより提供されるもの、と多岐に渡っています。こうした学術情報に対して、ユーザーが効率的にアクセスできる環境を整える取り組みを紹介し、さらにその先を目指すものについて参加者と考察しました。

九州地区の大学図書館関係者をはじめ、教員、大学院生、企業等からの参加者が100名を超えました。参加者からは、世界最大規模の大学図書館コンソーシアムであるJUSTICEの今後の活動や、ディスカバリーサービスによる学術情報への新たなアプローチ手法、また学術認証フェ

デレーション「GakuNin(学認)」によるShibbolethを使用したシームレスな学術情報サービスの構築方法、各出版社やベンダーの新製品情報等について、高い関心が寄せられました。



【プログラム】

- 13:10-14:00 セッション1 「世界最大規模の大学図書館コンソーシアム連合の誕生。JUSTICE が見ている先は？」
 今村昭一氏(国立情報学研究所 学術基盤推進部 図書館連携・協力室 (JUSTICE 事務局))
- 14:00-14:45 セッション2「進化するディスカバリーサービス」
 ○Summon アップデート SerialsSolutions / 株式会社サンメディア
 ○ディスカバリーサービス実現に向けての取り組み/片岡真(九州大学附属図書館)
- 14:55-15:45 セッション3「学術情報のトレンド:出版者からの最新情報」
 ○ProQuest ○ワイリー・ジャパン
 ○英国物理学会出版局(IOPP) ○オックスフォード大学出版局(OUP)
 ○NPG ネイチャーアジア・パシフィック

- 15:55-16:25 セッション4「どんどん広がる「GakuNin(学認)」の輪 - 学術認証フェデレーション」
 関戸麻衣氏(NII 学術コンテンツ課)、天野絵里子(九州大学附属図書館)
- 16:25-16:50 セッション5「e-Port アップデート」
 ○PierOnline、RefWorks Update
- 17:00 閉会

付設教材開発センター主催講演会

付設教材開発センターでは23年度に2回の講演会を実施しました。

◆教材開発センター設置記念講演会「MIMAサーチを活用したシラバスの可視化と次世代の教材開発への応用」

【日 時】平成23年9月22日(木) 15:00~17:00
 【会 場】九州大学中央図書館 4階会議室
 【参加者】26名

東京大学工学系研究科特任准教授の美馬秀樹先生をお招きし、知の構造化と可視化を行うシステムである「MIMAサーチ」について、シラバスをはじめとする大学教育の現場での活用事例を中心に、新しい教材を開発・提供することで学生の自律的な学習をマネジメントする試みについて紹介されました。

◆MIT宮川繁教授講演「オープンコースウェアとオープンエジュケーション」

【日 時】平成24年1月16日(月) 13:00~14:00
 【会 場】九州大学中央図書館 4階会議室
 【参加者】40名

マサチューセッツ工科大学(MIT)の宮川繁教授をお招きし、高等教育機関において正規に提供された講義および関連情報のインターネット無償公開であるOCW(Open Course Ware:オープンコースウェア)活動を中心に、MITが行っているICTを活用したeラーニング教材による学習支援についてご講演いただきました。

両講演ともに、図書館職員や学内の教職員のほか、学外からも参加者があり、普段教育を行ううえでの教材開発に関わる問題点、疑問などについて活発な質問や講師との意見交換が行われました。

図書館間交流協定

◆講演会「変わりゆく大学図書館ー描くべき新しい将来像ー」を開催

【日時】平成24年3月9日(金) 13:30~17:30
 【会場】九州大学中央図書館 4階視聴覚ホール
 【主催】九州大学附属図書館
 【後援】九州地区大学図書館協議会
 【参加者】91名

学術資料の多様化やICT技術の発達によってグローバル化が進出し、図書館を取り巻く環境が大きく変化しているなか、図書館員としてその状況にどのように対応すべきなのかについて、国内外より3名の講師を迎え、講演会を開催しました。

交流協定館であるトロント大学図書館のWarren Holder氏、慶應義塾大学理工学メディアセンターの島田貴史氏、附属図書館の濱崎修一事務部長により、これまでの経験や、挑戦してきた課題や事例、大学図書館が今後取り組むべき課題や進むべき方向性が示唆されました。

参加者は全国各地から90名を超え、各講演後の質疑応答も活発に行われるなど、本講演会への関心の高さが伺えました。

【プログラム】

「Turning the Page」

トロント大学図書館 Warren Holder氏

「紙の図書館から電子の図書館へ：海外研修で感じた大学図書館の変化」

慶應義塾大学理工学メディアセンター 島田貴史氏

「信頼される図書館であるために：九大図書館が挑戦してきたこと」

九州大学附属図書館 濱崎修一

◆ソウル大学校図書館から客員図書館員を受け入れ

交流協定館であるソウル大学校中央図書館より研修生として宋浚湧氏を受け入れました。滞在中は図書館運営や組織体制についての資料調査を行ったほか、職員へのインタビューを通じ日本と韓国の大学図書館運営について情報交換をはかり、相互に実りのある研修となりました。

【研修者】宋 浚湧(ソウル大学校中央図書館収書整理課)

【受入期間】平成23年10月10日~11月30日

【研修内容】大学法人化後の図書館運営について

交流協定図書館との資料交換(平成23年度)

九州大学→ソウル大学校 九州大学出版会図書26冊を寄贈
 「九州大学百年の宝物」
 「九州大学百年史 写真集」を各1冊寄贈

九州大学→慶北大学校 九州大学発行の紀要15冊を寄贈
 ソウル大学校→九州大学 ソウル大学校出版会図書88冊を受贈

海外との往来

ー来訪ー

・ソウル大学校図書館

【訪問者】宋 浚湧氏 (日程および目的は上掲のとおり)

【訪問者】ソウル大学図書館医学図書館長 他23名

【日程】平成23年11月24日

【目的】伊都図書館見学

・ブータン国立図書館・文化庁関係者

【訪問者】Harka Gurung氏(ブータン国立図書館長) 他3名

【日程】平成23年12月20日

【目的】ブータン国内でのアーカイブ法制定のための情報収集、意見交換

・イリノイ大学図書館

【訪問者】William H. Mischo氏(アーバナシャンペーン校 工学図書館長)
 Mary C. Schlembach氏(アーバナシャンペーン校 工学図書館員)

【日程】平成24年1月30日

【目的】九州大学との連携に関する会議およびプレゼンテーション

・トロント大学図書館

【訪問者】Warren Holder氏(e-resource coordinator)

【日程】平成24年3月9日

【目的】オープンフォーラムにおける講演及びフリーディスカッション参加

ー往訪ー

【訪問者】堀 優子(附属図書館利用支援課サービス企画係長)

【日程】平成23年7月17日~20日

【訪問先】大韓民国 ソウル

高麗大学校日本研究センター 韓国国立中央図書館

【目的】国際研究集会 in Seoul参加

【訪問者】渡邊 由紀子(附属図書館eリソースサービス室長、講師)

【日程】平成23年10月23日~29日

【訪問先】中華人民共和国 北京 Tsinghua Science Park、北京大學

【目的】WIS 2011のラウンドテーブル、ICADL 2011、CiSAP Annual Meeting出席、情報収集

【訪問者】工藤 絵理子(附属図書館eリソースサービス室リポジトリ係)

【日程】平成23年11月20日~30日

【訪問先】ドイツ ミュンヘン ゲッティンゲン

ミュンヘン大学、ミュンヘン工科大学、ゲッティンゲン大学

【目的】ドイツにおける留学生・外国人研究者向けの図書館サービスの調査

【訪問者】堀 優子(附属図書館利用支援課サービス企画係長)

兵藤健志(附属図書館eリソースサービス室eリソースサポート係)

【日程】平成23年12月20日~21日

【訪問先】大韓民国 プサン、釜山大学校等

【目的】日韓海峡圏カレッジワーキンググループ参加・協議

【訪問者】渡邊 由紀子(附属図書館eリソースサービス室長、講師)

【日程】平成24年3月12日~15日

【訪問先】台湾 台北 National Taiwan Normal University

【目的】4th Workshop of the Asia Library and Information Research Group出席

利用説明会・講習会 Library Workshops

利用者が学習・研究を行う上で必要な文献や情報を、効率よく探し出し活用できるよう、様々な講習会を開催しています。23年度は、留学生支援を重点項目とし、英語による利用説明会を拡充し、新たに学士課程国際コース(G30)の学生に対するセミナーを開催しました。

●利用説明会

データベース提供元からの講師や図書館職員が、それぞれの検索ツールの詳しい使い方を紹介する利用説明会を随時開催しています。23年度は、Web開催を少なくしたため参加者数が減少しましたが、英語による開催を増やし、留学生の学習支援に貢献しました。

内容	講師	言語	回数	人数
CiNii	図書館職員	日	4	73
CiNii_JDreamII(日本語論文)	図書館職員	日	3	20
JCR	提供元	日	1	16
PubMed	図書館職員/提供元	日	4	74
PubMed_医中誌Web(医学系DB)	図書館職員	日	1	4
Reaxys	提供元	日	3	25
RefWorks	図書館職員/提供元	日英	12	98
SciFinder	提供元	日英	9	68
Scopus	提供元	日英	7	99
UpToDate	提供元	日	4	24
Web of Science	提供元	日英	7	99
医中誌Web	提供元	日	3	40
日経NEEDS	提供元	日	2	39
計			60	679

●オンデマンド講習会

利用者からの要望に応じて、日程、内容等を設定し、図書館職員が講師となって行うものです。ほとんどが授業の一環として行われており、授業と連携した学習・教育支援として重要な活動になっています。受講者数は昨年度より146名増加しました。

対象	回数	人数
法学部	3	36
経済学部・経済学府・比文・言文	8	132
人間環境科学府	2	24
理学部・理学府	2	21
農学部	1	40
工学部	1	60
医学部・医学系学府	9	274
薬学部・薬学府	1	8
全学教育	3	302
健康科学センター	1	9
計	31	906

●大学図書館活用セミナー(新入生図書館ガイダンス)

全学教育科目の一つであるコアセミナーの講義時間などを使って、新入生に図書館活用法を案内するもので、18年度から実施しています。23年度は、「大学図書館活用セミナー」と装いを新たにし、内容を充実させました。受講者は昨年度より513名増え、新入生の約9割に対して図書館の基本的機能や蔵書検索の方法、情報倫理について学習する機会を提供できました。

対象	回数	人数
文学部	10	177
教育学部	1	56
法学部	6	107
経済学部	8	153
理学部	8	288
医学部	4	258
歯学部	1	54
薬学部	1	85
工学部	12	856
農学部	4	239
芸術工学部	5	206
21世紀プロ	1	25
統合新領域学府	1	8
数理学府	1	75
学士課程国際コース G30	2	44
計	65	2,631

また、例年の新入生向ガイダンスは「大学図書館活用セミナー」と位置づけ、全新生の9割に対し提供することができました。今後は学生協働の取り組みと連携しながら、学習・教育支援、研究支援に積極的に参画していきます。

平成23(2011)年度実績

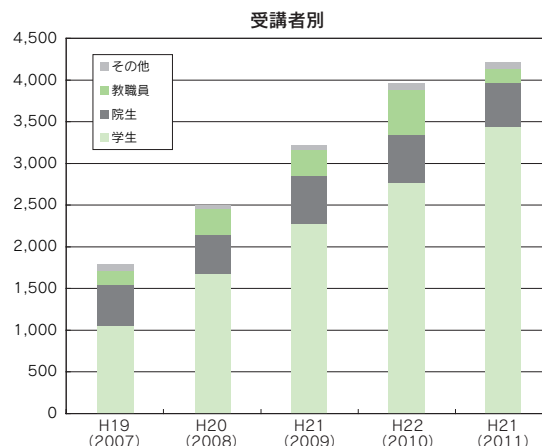
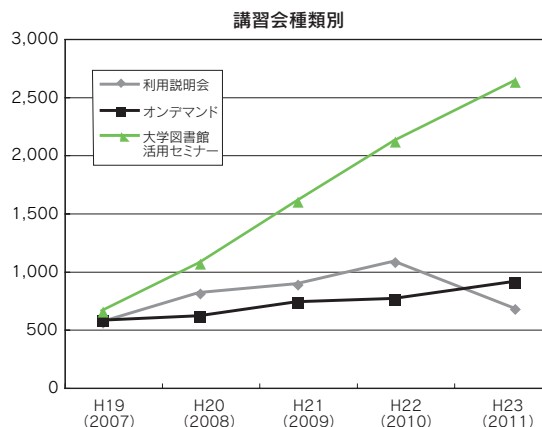
講習会種類別

会場	利用説明会		オンデマンド講習会		大学図書館活用セミナー		計	
	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数
箱崎(文系・理系)	23	259	16	303	38	1,028	77	1,590
伊都	11	121	4	312	16	1,000	31	1,433
病院	16	208	10	282	6	397	32	887
大橋	4	33	0	0	5	206	9	239
筑紫	4	16	1	9	0	0	5	25
Web	2	42					2	42
計	60	679	31	906	65	2,631	156	4,216

受講者別

会場	教職員	院生	学生	学内その他	学外者	計
箱崎(文系・理系)	31	225	1,308	17	9	1,590
伊都	22	144	1,254	13	0	1,433
病院	97	122	646	22	0	887
大橋	9	6	223	1	0	239
筑紫	6	12	3	4	0	25
Web	14	16	5	7	0	42
総計	179	525	3,439	64	9	4,216

参加者数の推移



新規コレクション

◆大型図書資料

人文社会科学分野の研究資料の充実のため、大型図書資料として以下の5点を購入しました。

●万国博覧会関係貴重資料

1851年(ロンドン)から1937年(パリ)までに開催された国際博覧会に関する文献・公式報告書・図録・案内書をはじめ、1840年代に創刊された週刊絵入り雑誌「イラストレイテッド・ロンドン・ニュース」の中から万国博覧会に関する図版集成などを収録している。

●「ジェンダー」関連コレクション(Online&マイクロフィルム)

ジェンダー研究データベースであるDefining Gender, 1450-1910、15世紀から19世紀の女性向け雑誌、指南書などの集大成であるマイクロフィルムWomen Advising Women、16世紀から20世紀の女性たちの言葉が明らかにする英国の地方生活が収められたマイクロフィルムWomen's Language and Experience, 1500-1940の3点で構成された史料集成。

◆新規電子化コレクション

本学所蔵のコレクションから、23年度は以下の資料を電子化・公開しました。

●今昔物語 中央図書館所蔵。31巻30冊(巻30原欠)。

電子化公開資料の増加により、「日本古典籍画像データベース」の効果的なレイアウトや利用者への適切なナビゲートが課題となったことから、『国書総目録』等の分類語に基づいたジャンルに分類することで全体を再構成し、表示方法を改善しました。

●近世の日本・東アジアに関するヨーロッパ人収集資料 (マイクロフィッシュ&書冊)

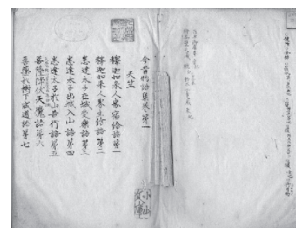
16世紀～19世紀の西洋人による東アジアの旅行記、オランダ商館医シーボルト来日時収集した和本類、さらにオランダの海軍医であり、長崎に滞在したポンベの日本滞在記録により構成されている。

●英領アフリカ植民地ケニア 政府刊行物・各省報告書 (マイクロフィルム)

イギリス領アフリカ植民地諸国における19世紀末から独立までの植民地時代の行政、経済、教育、法などに関する植民地政府の刊行物・各省年次報告書を収録している。

●Henry George コレクション

アメリカの経済学者、社会運動家としても活躍したヘンリー・ジョージ(1839-1897)の著書及び同時代人による関連書、ヘンリー・ジョージ研究書からなるコレクション82点。



今昔物語

「日本古典籍画像データベース」からご覧いただけます。

http://mars.lib.kyushu-u.ac.jp/infolib/meta_pub/G0000002rare2

九州大学学術情報リポジトリ(QIR)

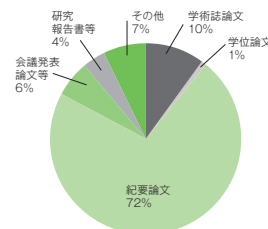
九州大学学術情報リポジトリ(QIR)は、学内研究成果の一次情報を収集・蓄積・保存・公開することを目的として、18年4月に公開をしました。学内刊行物をはじめ様々なコンテンツ収集とその整備を行い着実に数を増やすとともに、利便性を高めるためにシステムの強化・開発・他システムとの連携を進めています。

◆システムの更新

18年のサービス開始から5年経過したシステムの永続的・発展的運用のため、バックアップ体制の強化や、今後のシステム拡張に対し柔軟に対応できる構成となるよう、インフラ環境を再構築するとともに、リポジトリソフトウェアのバージョンアップを実施しました。

◆コンテンツの拡充

23年度は、約2,140件のコンテンツ登録があり、累積件数は18,550件に達しました。



コンテンツ種類別内訳 (平成24年3月31日現在)

種類	件数
学術誌論文 (Journal Article)	1,872
学位論文 (Thesis or Dissertation)	170
紀要論文 (Departmental Bulletin Paper)	13,293
会議発表論文等 (Conference Paper)	1,025
研究報告書等 (Research Paper)	723
その他 (Others)	1,467

◆「文献自動収集・登録ワークフローシステムの開発」プロジェクト

国立情報学研究所の平成22～24年度CSI委託事業に採択された「自動文献収集・登録ワークフローシステムの開発」プロジェクトの主担当機関として、連携機関である一橋大学、筑波大学、三重大学と情報交換を進めながら事業を実施しています。このプロジェクトは、研究者(登録者)への負担の少ないセルフアーカイビングを実現すると同時に、リポジトリ担当者のワークフローを標準化することで、一連のデポジットの流れを自動化し、リポジトリの登録を促進することを目的としています。

23年度は、22年度に行ったリポジトリ登録における著作権処理標準化の結果を基に、「著作権処理状態管理システム」の開発を行いました。このシステムと、22年度に開発した「教員問合せシステム・リポジトリ投稿システム」が連携することで、一連のワークフローシステムが完成します。今後、開発したシステム群の試験運用を行い、機能の評価・改善を実施していく予定です。

研究開発室 Research & Development

23年度は、下記の事項についての研究開発活動を行いました。主な取り組みについて紹介します。

■新専任教員の着任

統合新領域学府ライブラリーサイエンス専攻の設置に伴い、23年4月より新たに石田栄美准教授が着任しました。

■附属図書館研究開発室成果発表会を開催

23年12月16日、附属図書館研究開発室活動発表会を開催しました。

【プログラム】.....

- 堀賀貴／松石健祐(統合移転後の新図書館計画に関する調査研究)
「建築デザインスタジオで図書館を設計するー図書館と建築家の関係ー」(堀)
- 「大学院教育(建築デザインスタジオ)演習と連携した新中央図書館計画」(松石)
- 石田栄美(図書館職員の専門性育成に関する調査研究)
「図書館職員の専門性育成に関する試みーライブラリーサイエンス専攻との連携ー」

池田大輔／堀優子(図書館マーケティングに関する研究開発)

- 「図書館マーケティングに関する研究開発」班の取り組みについて」(堀)
- 「データと知見共有の基盤システム構築に向けて」(池田)
- 馬場謙介(学術情報リポジトリに関する研究開発)
「機関リポジトリと研究者データベースのリンクシステムの評価」
- 原賀可奈子／芦北卓也(資料保存に関する調査研究)
「資料保存に関する調査研究の活動報告」

■連続講演会「ライブラリーサイエンスの現在」を開催

23年7月より、「図書館職員の専門性育成に関する調査研究」の事項において、大学院統合新領域学府ライブラリーサイエンス専攻との共催による連続講演会を開催しています。図書、文献、記録情報の管理についての最新の動向を提供し、関係領域の教職員・学生の専門性の向上を図ることを目的としています。23年度は7回開催し、参加者数は計211名にのびりました。

平成23年度研究開発室研究開発事項

総括

研究開発の総括	川本 芳昭(附属図書館長、副学長)	大学における学術情報の収集、加工、蓄積、提供及びその他図書館が行う学習・教育・研究支援活動の改善に関する事項のうち、九州大学附属図書館研究開発室において行う課題を指定し総括する。
---------	-------------------	---

I 将来計画に関する分野

統合移転後の新図書館計画に関する調査研究	堀 賀貴(人間環境学研究院教授)	新中央図書館建設に向け、必要とされる図書館機能及びそれらを実現するための施設設備・サービスに関する調査研究を行う。
海外の大学図書館に関する調査研究	松原 孝俊(韓国研究センター教授)	海外、特にアジア諸国の大学図書館との図書館間交流の推進についての調査研究を行う。
図書館職員の専門性育成に関する調査研究	石田 栄美(附属図書館研究開発室准教授) 岡崎 敦(人文科学研究院教授) 川平 敏文(人文科学研究院准教授) 田村 隆(附属図書館研究開発室特別研究員、九州産業大学講師)	九州大学が所蔵する和本等の資料について、その由来や内容、価値、目録形成等についての調査研究を行うとともに、その過程のなかでサブジェクトライブラリアンとしての職員の専門性育成を図っていく。
学習・教育活動との連携に関する調査研究	吉田 素文(附属図書館副館長、医学研究院教授) 富浦 洋一(システム情報科学研究院教授) 井上 仁(情報基盤研究開発センター准教授)	大学の学習・教育活動と連携した新たな教育支援サービスについて、教材開発センターとの協働により調査研究を行う。
図書館マーケティングに関する研究開発	馬場 謙介(附属図書館研究開発室准教授) 池田 大輔(システム情報科学研究院准教授) 伊東 栄典(情報基盤研究開発センター准教授) 南 俊朗(附属図書館研究開発室特別研究員、九州情報大学教授)	利用状況の分析を基にした図書館マーケティングと、それを活用したサービス・利用環境の改善、新たなサービスの創出に関する研究開発を行う。

II 電子図書館システムに関する分野

学術情報リポジトリに関する研究開発	馬場 謙介(附属図書館研究開発室准教授) 荒木啓二郎(システム情報科学研究院教授) 竹田 正幸(システム情報科学研究院教授) 池田 大輔(システム情報科学研究院准教授) 廣川佐千男(情報基盤研究開発センター教授) 伊東 栄典(情報基盤研究開発センター准教授)	学術情報リポジトリのコンテンツ拡充及び発信機能強化のため、機能の高度化、システム間連携、検索システム等に関する研究開発を行う。
教員・学生のコミュニティ及びコンテンツ形成に関する研究	池田 大輔(システム情報科学研究院准教授) 井上 創造(附属図書館研究開発室特別研究員、九州工業大学准教授)	学生や教員、または研究者同士のコミュニティを中心とした活発かつ効果的な教育研究のために、SNS(Social Networking Service)システムを基盤とした新機能の研究開発を行う。
RFIDおよびスマートセンサを使った図書館に関する研究	藤崎 清孝(システム情報科学研究院准教授) 井上 創造(附属図書館研究開発室特別研究員、九州工業大学准教授) 南 俊朗(附属図書館研究開発室特別研究員、九州情報大学教授)	図書館業務の効率化及び新たなサービスの創出のため、RFID(Radio Frequency Identification)を用いた図書館システムの調査や無線通信技術に関する評価を行うと共に、センサネットワークやスマートフォンなどの技術を用いたスマートセンサを組み合わせた新しい図書館システムの実現に向けた調査研究を行う。
eリソース流通基盤に関する研究開発	馬場 謙介(附属図書館研究開発室准教授) 池田 大輔(システム情報科学研究院准教授) 伊東 栄典(情報基盤研究開発センター准教授) 南 俊朗(附属図書館研究開発室特別研究員、九州情報大学教授)	図書館サービスと大学の利用者認証基盤との連携や電子コンテンツ流通に関する研究開発を行う。

III コンテンツ形成・発信に関する分野

著作権問題に関する調査研究	黒澤 節男(附属図書館研究開発室特別研究員)	図書館サービス全般における著作権問題の解決を図るとともに、学術情報発信及び教材作成等における著作権問題について調査研究を行う。
貴重資料の画像及び書誌データベース作成に関する調査研究	今西裕一郎(附属図書館研究開発室特別研究員、国文学研究資料館長) 田村 隆(附属図書館研究開発室特別研究員、九州産業大学講師) Wolfgang Michel(附属図書館研究開発室特別研究員) 中里見 敬(言語文化研究院准教授)	本学が所蔵する貴重資料等の調査を行うとともに、そのデータベース作成におけるコンテンツ形成及びシステム・インターフェース構築に関する調査研究を行う。
資料保存に関する調査研究	三輪 宗弘(附属図書館付設記録資料館長)	本学が所蔵する資料の調査や、保存・管理態勢に関する調査研究を行う。

きゅうとステップアップ研修

◆教職員向けインストラクショナル・デザイン研修

「教育の質向上支援プログラム(EEP)」の一環として、教職員のICTを活用した教授技術の向上を目指し、インストラクショナル・デザイン(ID)研修を計2回開催しました。

24年2月には、図書館職員約20名が、講義の目標設定や受講生の動機付けを念頭においた授業設計を学び、実際に企画提案書の作成までを行いました。

24年3月には病院地区で、約30名の教職員・学生が、「講義しない授業のすすめ」と題したID研修を受講しました。クリッカーという携帯端末によるレスポンスシステムを活用した授業を実際に体験しながら、学生が自ら学ぶ、新しい授業の手法について学びました。

・図書館職員向けインストラクショナル・デザイン研修

【開催日】平成24年2月21日(火) 13:30-17:00

【場 所】中央図書館 1階会議室

【講 師】松田岳士氏(島根大学教育開発センター准教授)

・講義しない授業のすすめ

—Instructional Systems Designと携帯端末レスポンスシステムの応用—

【開催日】平成24年3月21日(水) 17:30-19:00

【場 所】病院地区コラボステーションI視聴覚ホール

【講 師】松本尚浩氏(東京慈恵会医科大学麻醉科学講座講師)

九州地区医学図書館員セミナー

九州地区医学図書館協議会主催で毎年開催している医学図書館員対象の研修会を医学図書館で開催しました。

Wolfgang Michel本学名誉教授による古医書にまつわる講演に続き、各館の事例報告等、図書館サービス向上のための取り組みについて意見交換しました。

【開催日】平成23年11月25日(金)

【会 場】医学図書館 3階会議室

【参加者】26名(9大学)

【プログラム】

1. 講演

講師: Wolfgang Michel(九州大学名誉教授)

演題: 九州大学所蔵の貴重古医書について

2. 各館の事例報告

テーマ1: 図書館の広報活動について

テーマ2: 利用者サービスについて

テーマ3: 図書館の資料選定及び収集について

平成23年度図書系職員初任者研修

新任図書館員に対し、九州大学附属図書館の理念、目標や現在取り組んでいる主な事業等を理解させるとともに、図書館業務遂行に必要な基礎知識を習得させることを目的として実施しています。

これらの講義は、初任者以外の職員も多数聴講し、自己研鑽を深める契機ともなっています。

【プログラム】

5/19(木)

九州大学附属図書館の将来構想
九州大学附属図書館の概要と図書館業務の流れ
九州大学統合移転と新図書館構想
図書館業務システム概要
ネットワークとセキュリティ

5/20(金)

学内外の予算に関する事務の概要
業務の流れを実際に見る
カウンター業務実習
研究開発室の概要と最近の研究内容



目録/ILLシステム地域講習会

国立情報学研究所と共催で、今年度は目録システム地域講習会図書コースとILLシステム地域講習会を開催しました。

両講習会とも、九州地区の大学図書館職員16名が参加し、システムの運用方法等を熱心に学ぶとともに、同じ業務を担当する他大学の職員との交流を深めました。

【開催日】ILL: 平成23年7月13日

目録(図書): 平成23年9月28日・30日

統計 = 利用サービス = Statistics

平成23(2011)年度

		中央図書館	医学図書館	芸術工学図書館	筑紫図書館	伊都図書館	嚶鳴天空広場	文系合同図書室	合計
		Central Lib.	Medical Lib.	Design Lib.	Chikushi Lib.	Ito Lib.	Q-Commons	Human.& Soc.Sci.Lib.	Total
年間開館日数 Opening days (日)	平日 Weekday	239	245	240	240	238	172	224	1,598
	土曜 Saturday	51	50	35	49	52	0	39	276
	日曜・祝日 Others	64	55	5	0	63	0	0	187
	合計 Total	354	350	280	289	353	172	263	2,061
入館者数 Visitors (人)	教職員 Faculties	20,627	7,840	2,300	8,937	10,262	0	3,375	53,341
	学生 Students	382,139	142,601	25,205	35,747	310,078	112,812	27,404	1,035,986
	学外者 Others	33,187	5,596	1,055	5,625	5,817	0	339	51,619
	合計 Total	435,953	156,037	28,560	50,309	326,157	112,812	31,118	1,140,946
貸出冊数 Circulations(Items) (冊)	教職員 Faculties	8,425	2,707	1,988	1,368	9,510	70	9,890	33,958
	学生 Students	63,915	14,926	20,306	5,168	74,899	3,269	42,205	224,688
	学外者 Others	2,032	121	261	147	496	0	0	3,057
	合計 Total	74,372	17,754	22,555	6,683	84,905	3,339	52,095	261,703
貸出者数 Circulations(Users) (人)	教職員 Faculties	5,264	1,704	1,319	1,103	6,050	61	4,947	20,448
	学生 Students	41,849	11,557	11,890	4,263	48,657	2,847	19,967	141,030
	学外者 Others	1,759	85	184	104	330	0	0	2,462
	合計 Total	48,872	13,346	13,393	5,470	55,037	2,908	24,914	163,940
文献複写件数 Resource Sharing(copies) (件)	学外からの受付(国内) Requests(Domestic)	4,224	15,832	350	-	820	-	-	21,226
	学外からの受付(国外) Requests(International)	96	0	2	-	0	-	-	98
	小計 Subtotal	4,320	15,832	352	-	820	-	-	21,324
	学内からの受付 Request within KU (内、E-DDS件数) (E-DDS of above)	1,044 (164)	809 (436)	153 (32)	89 (68)	616 (298)	- (-)	- (-)	2,711 (998)
	合計 Total	5,364	16,641	505	89	1,436	-	-	24,035
	(うち謝絶) (cancel)	738	1,398	77	0	176	-	-	2,389
	学外への依頼(国内) Received(Domestic)	3,258	3,185	484	185	1,708	-	-	8,820
	学外への依頼(国外) Received(International)	70	23	3	0	11	-	-	107
	合計 Total	3,328	3,208	487	185	1,719	-	-	8,927
	(うち謝絶) (cancel)	652	603	132	0	202	-	-	1,589
相互貸借件数 Resource Sharing(Loans) (件)	学外からの受付(国内) Borrows(Domestic)	1,690	43	165	4	455	-	-	2,357
	学外からの受付(国外) Borrows(International)	0	0	1	0	0	-	-	1
	合計 Total	1,690	43	166	4	455	-	-	2,358
	(うち謝絶) (cancel)	444	21	28	0	63	-	-	556
	学外への依頼(国内) Loans(Domestic)	1,031	56	146	16	481	-	-	1,730
	学外への依頼(国外) Loans(International)	6	0	0	0	0	-	-	6
	合計 Total	1,037	56	146	16	481	-	-	1,736
(うち謝絶) (cancel)	147	19	29	0	103	-	-	298	
レファレンス件数 Reference inquiries (件)	教職員 Faculties	512	795	38	126	590	0	339	2,400
	学生 Students	2,709	4,238	333	116	2,416	853	2,626	13,291
	学外者 Others	568	569	36	14	117	0	1,270	2,574
	合計 Total	3,789	5,602	407	256	3,123	853	4,235	18,265
	所在調査 Holdings	631	1,655	61	30	1,299	17	3,388	7,081
	事項調査 Topics	102	270	58	105	110	1	212	858
	利用指導・その他 Instructions /Others	3,056	3,677	288	121	1,714	835	635	10,326
	合計 Total	3,789	5,602	407	256	3,123	853	4,235	18,265

※文献複写・相互貸借件数には謝絶も含む

電子ジャーナルの利用(主要パッケージのフルテキストダウンロード数)

E-Journals

Full-text downloads in major e-Journal package

2011.1.1-12.31

パッケージ名称 Service	利用件数 Downloads	パッケージ名称 Service	利用件数 Downloads
American Chemical Society (ACS)	242,577	Karger	6,498
American Institute of Physics (AIP)	40,842	Nature Site License	178,041
American Physical Society (APS)	32,273	ProQuest Health & Medical Complete	3,921
CiNii*	187,194	ProQuest Research Library	5,468
Elsevier ScienceDirect Freedom Collection	887,682	SpringerLink	155,554
Journals@Ovid	6,402	Wiley Online Library	252,965
		合計 Total	1,999,417

※国内誌

情報検索サービスの利用

Databases

2011.1.1-12.31

種別 Type	サービス名 Database name	説明 Description	検索回数 Searches	セッション数 Sessions
きゅうとサービス Cute services	きゅうとOPAC	九大所在情報	1,407,322	-
	きゅうとLinQ	リンクリゾルバ	606,964	-
	きゅうとE-Journals	電子ジャーナル集	129,051	-
	きゅうとMyLibrary	図書館ポータル	-	73,751
	RefWorks	文献管理ツール	-	12,002
文献情報 Abstracts & index databases	CiNii	全分野(国内)	416,179	103,566
	Web of Science (Web of Knowledge)	全分野	283,954	58,996
	Scopus	自然・社会科学	244,004	89,684
	SciFinder	化学	149,413	30,931
	医中誌Web	医学(国内)	114,321	39,458
	JDreamII	自然科学	30,445	8,841
	MEDLINE (Ovid)	医学	7,604	1,695
	Econlit (EBSCOhost)	経済学	3,812	1,552
	PsycINFO (Ovid)	心理学	3,307	923
	CINAHL (EBSCOhost)	看護学	2,905	657
	EBM Reviews (Ovid)	医学	1,060	733
ERIC (Ovid)	教育学	278	133	
事典類 References	JapanKnowledge	(国内)※	33,026	4,433
	国史大辞典Web	(国内)	8,715	2,250
	日本歴史地名大系	(国内)	3,269	752
	日国Online	(国内)(~2011.3)※	2,852	515
	Gale Virtual Reference Library		178	84
	理科年表プレミアム	(国内)	-	310
	Marquis Biographies Online		-	196
新聞 Newspaper articles	聞蔵II ビジユアル for Libraries	朝日新聞など	-	3,033
インパクトファクター Impact factor	Journal Citation Reports [JCR] (Web of Knowledge)	自然科学	22,107	25,992

※「日国Online」は、2011年4月より「JapanKnowledge」に統合。

学内配送サービスの利用(図書の貸出・返却に学内配送システムを利用した回数)

Inter-campus book delivery

平成23(2011)年度

から from	へ to	中央図書館 Central Lib.	文系合同図書室 Human.& Soc.Sci.Lib.	医学図書館 Medical Lib.	芸術工学図書館 Design Lib.	筑紫図書館 Chikushi Lib.	伊都図書館 Ito Lib.	嚶鳴天空広場 Q-Commons	計 Total
中央図書館 Central Lib.			3,814	695	1,713	599	7,001	180	14,002
文系合同図書室 Human.& Soc.Sci.Lib.		4,608		232	555	111	2,097	70	7,673
医学図書館 Medical Lib.		967	195		158	100	610	23	2,053
芸術工学図書館 Design Lib.		1,718	586	152		253	1,448	44	4,201
筑紫図書館 Chikushi Lib.		697	159	114	297		931	11	2,209
伊都図書館 Ito Lib.		5,922	1,980	532	1,283	828		257	10,802
嚶鳴天空広場 Q-Commons		453	169	26	80	12	2,538		3,278
計 Total		14,365	6,903	1,751	4,086	1,903	14,625	585	44,218

統計 = 基盤サービス = Statistics

■ 図書・雑誌(冊子体)の受入 Current acquisitions of materials

平成23(2011)年度

		図書受入冊数 Current acquisitions of books (冊)			雑誌受入種類数(冊子体) Current serials title (種)		
		和漢書 CJK	洋書 Western	計 Total	和雑誌 CJK	洋雑誌 Western	計 Total
中央図書館 Central Library	中央図書館 Central Library	7,147	2,121	9,268	1,978	187	2,165
	理学研究院 Faculty of Sciences	366	780	1,146	399	364	763
	農学研究院 Faculty of Agriculture	422	250	672	1,556	757	2,313
	小計 Central Library Total	7,935	3,151	11,086	3,933	1,308	5,241
医学図書館 Medical Library	医学図書館 Medical Library	1,017	1,236	2,253	749	505	1,254
	医学研究院 Faculty of Medical Sciences	282	184	466	58	23	81
	歯学研究院 Faculty of Dental Science	0	0	0	11	15	26
	薬学研究院 Faculty of Pharmaceutical Sciences	1	5	6	2	1	3
	生体防御医学研究所 Medical Institute of Bioregulation	0	1	1	0	2	2
	病院(医・歯) University Hospital	149	114	263	91	90	181
	小計 Medical Library Total	1,449	1,540	2,989	911	636	1,547
芸術工学図書館 Design Library	2,497	277	2,774	510	109	619	
筑紫図書館 Chikushi Library	筑紫図書館 Chikushi Library	593	213	806	239	26	265
	総合理工学研究院 Faculty of Engineering Sciences	18	14	32	16	0	16
	応用力学研究所 Research Institute for Applied Mechanics	0	0	0	18	5	23
	先端物質化学研究所 Institute for Materials Chemistry and Engineering	0	13	13	4	0	4
	健康科学センター Institute of Health Science	8	19	27	24	13	37
	小計 Chikushi Library Total	619	259	878	301	44	345
伊都図書館 Ito Library	伊都図書館 Ito Library	7,437	1,566	9,003	536	32	568
	比較社会文化研究院 Faculty of Social and Cultural Studies	2,552	951	3,503	173	75	248
	言語文化研究院 Faculty of Languages and Cultures	1,019	514	1,533	21	60	81
	数理学研究院 Faculty of Mathematics	190	1,832	2,022	35	443	478
	工学研究院 Faculty of Engineering	223	299	522	212	173	385
	システム情報科学研究院 Faculty of Information Science and Electrical Engineering	266	132	398	69	54	123
	基幹教育院 Faculty of Arts and Science	18	0	18	11	13	24
	小計 Ito Library Total	11,705	5,294	16,999	1,057	850	1,907
文系合同図書室 Humanities and Socialsciences Library	文学部 School of Letters	5,464	2,173	7,637	2,559	290	2,849
	教育学部 School of Education	677	294	971	689	80	769
	法学研究院 Faculty of Law	4,836	2,092	6,928	713	315	1,028
	経済学研究院 Faculty of Economics	1,641	1,126	2,767	647	226	873
	人環 都市・建築学部門 Faculty of Human-Environment Studies, Dep. of Arch. & Urban Design	321	200	521	46	39	85
	小計 Humanities and Socialsciences Library Total	12,939	5,885	18,824	4,654	950	5,604
別府病院 Beppu Hospital	0	0	0	89	22	111	
記録資料館 Manuscript Library	782	13	795	415	3	418	
情報基盤研究開発センター Research Institute for Information Technology	0	0	0	2	2	4	
合計 Total		37,926	16,419	54,345	11,845	3,907	15,752

(注1) 図書受入数及び雑誌受入種類数は、図書館・室の単位で大区分を行い、その中を部局・附属研究所・全国共同利用施設の単位で展開している。学内共同教育研究施設及び学内共同利用施設等の受入数については、それらの施設の事務処理を行う館・室の項目に計上している。
 (注2) 統合新領域学府オートモーティブサイエンス専攻、カーボンニュートラル・エネルギー国際研究所、マス・フォア・インダストリ研究所は、伊都図書館の項目に計上している。
 (注3) 図書受入冊数は、資産として受入された図書の冊数である。

資料費

Expenditures for library materials

平成23(2011)年度
(単位:千円/thousand yen)

		図書費 Books	雑誌・新聞費 Serials	eリソース Electronic resources	その他 Others	資料費総額 Total
中央図書館	Central Library	47,012	57,431	462,454	15,300	582,197
医学図書館	Medical Library	18,193	20,996	6,598	1,813	47,600
芸術工学図書館	Design Library	13,976	7,198	162	2,211	23,547
筑紫図書館	Chikushi Library	17,701	4,724	0	58	22,483
伊都図書館	Ito Library	101,417	55,350	36	3,553	160,356
文系合同図書室	Humanities and Social Sciences Library	147,185	40,331	21,762	5,955	215,233
別府病院	Beppu Hospital	0	30	285	0	315
記録資料館	Manuscript Library	2,052	132	0	151	2,335
情報基盤研究開発センター	Research Institute for Information Technology	445	18	3,060	0	3,523
合計	Total	347,981	186,209	494,358	29,041	1,057,589

(注1) 全学共通の電子ジャーナルは、一括して中央図書館に計上。

(注2) 電子ジャーナル等にはEJ、DB、その他電子ツールを含む。

(注3) 資料費総額には、視聴覚資料・製本費等、その他の資料に関する費用も含む。

電子ジャーナル E-Journals

平成24(2012)年5月1日現在

アクセス可能な電子ジャーナル(無料誌含む)

Accessible e-Journals (including free titles)

純タイトル数 Unique titles

63,287

契約タイトル数 Licensed e-Journals

平成24(2012)年度

出版社等 Publisher	タイトル数 Titles	出版社等 Publisher	タイトル数 Titles
American Chemical Society (ACS)	42	Karger	76
American Institute of Physics (AIP)	12	LexisNexis: Academic & lexis.com	9,213
American Physical Society (APS)	8	Lippincott Williams and Wilkins (LWW)	22
American Society of Mechanical Engineers (ASME)	25	Medical Online Library (MOL) *	886
Association for Computing Machinery: ACM Portal	1,133	Nature Publishing Group	35
Cambridge University Press	28	OECD iLibrary	37
Cell Press	7	Oxford University Press	188
Chemical Society of Japan (CSJ) *	2	ProQuest Health & Medical Complete	2,035
CiNii *	460	ProQuest Research Library	3,669
EBSCOhost: Business Source Complete	10,514	Science (AAAS)	3
EBSCOhost: EconLit with Full Text	641	SpringerLink	1,719
Elsevier ScienceDirect	1,804	Taylor & Francis	97
IEEE: ASPP Online, POP Online	274	UniBio Press *	6
IEICE *	8	University of Chicago Press	12
Institute of Physics (IOP)	11	Wiley Online Library	1,384
Institute of Pure and Applied Physics (IPAP) *	1	World Scientific Publishing	18
Journals@Ovid	6	その他	606
JSTOR: Arts & Sciences Collection I-II	365		
		合計 Total	35,347

※国内誌

蔵書数

Holdings

平成24(2012)年3月31日現在

	図書所蔵冊数 Books (冊)			雑誌所蔵種類数 Serials (種)		
	和漢書 CJK	洋書 Western	計 Total	和漢書 CJK	洋書 Western	計 Total
中央図書館	592,494	364,549	957,043	18,233	11,864	30,097
医学図書館	144,644	201,265	345,909	3,488	8,610	12,098
芸術工学図書館	125,084	51,113	176,197	2,072	1,007	3,079
筑紫図書館	65,585	79,155	144,740	1,521	1,196	2,717
伊都図書館	499,874	451,773	951,647	8,691	8,256	16,947
文系合同図書室	827,367	614,735	1,442,102	17,571	8,528	26,099
別府病院	6,913	13,487	20,400	290	346	636
記録資料館	54,268	4,303	58,571	1,663	54	1,717
情報基盤研究開発センター	2,655	8,442	11,097	42	85	127
合計	2,318,884	1,788,822	4,107,706	53,571	39,946	93,517

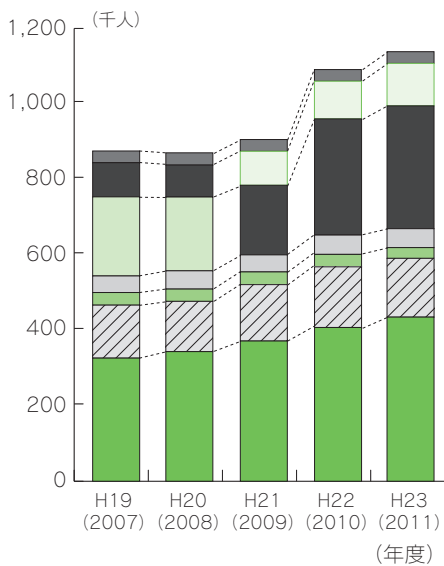
(注) 図書蔵書冊数は、資産として登録された図書の冊数である。

統計 = 推移と分析 = Statistics

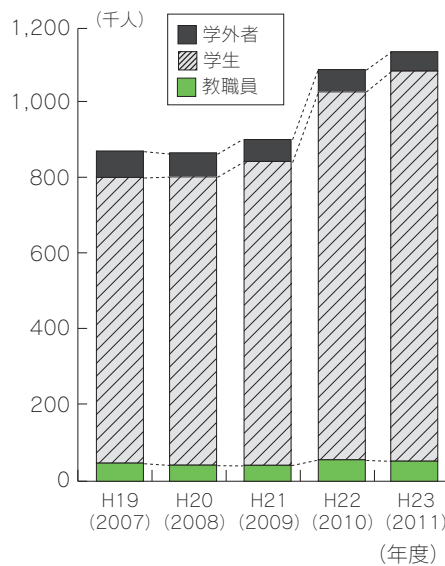
■ 利用サービスの推移



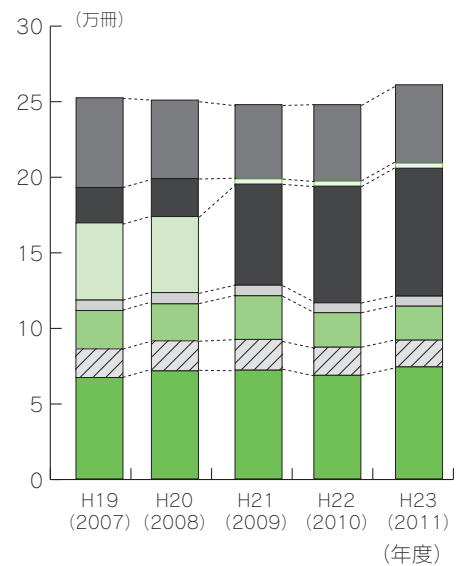
入館者数



身分別入館者数



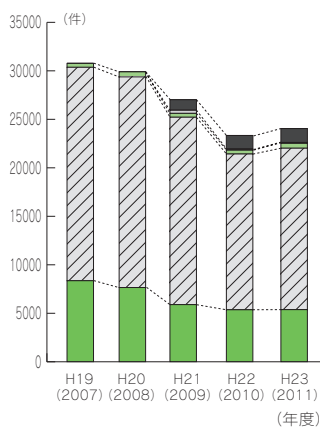
貸出冊数



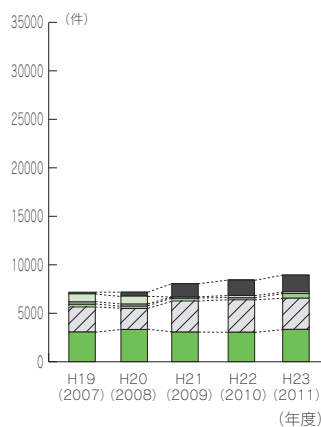
入館者数については、昨年度ほどではありませんが、順調な伸びを示しています。特に中央図書館、伊都図書館及び嘸鳴天空広場Q-Commonsにおいて年々増加しています。身分別入館者数のグラフでも分かるように、学生の入館者数が着実に増加しており、学習活動での図書館の活用が進んでいることが分かります。逆に学外者は減少しており、これは六本松図書館の閉館及びネットワーク環境の普及や資料の電子化により来館せずとも要求が満たせるようになったことの影響も考えられます。

一方、貸出冊数については、23年度若干の増加となっており、特に伊都図書館で順調な伸びをみせています。また、中央図書館で数理学関係資料の移設により昨年度いったん減少したものの、23年度は約8%増加し、前々年度までの水準を超えました。

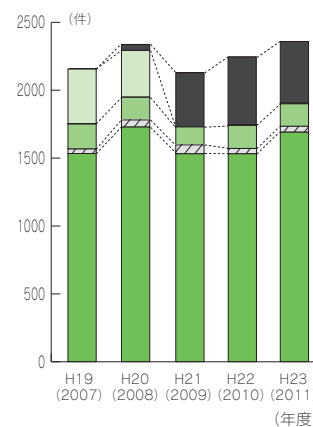
文献複写件数【受付】



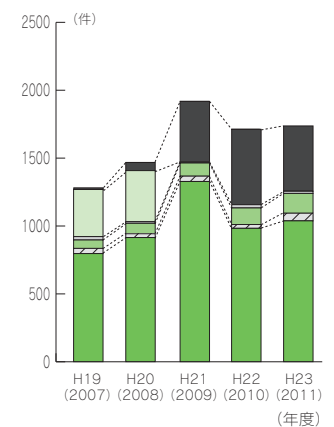
文献複写件数【依頼】



相互貸借件数【受付】



相互貸借件数【依頼】



受付(学外機関/学内利用者・個人への文献コピーの提供)は、各大学における電子ジャーナルのアクセス環境が向上したことなどにより、ここ数年間、全体的な減少傾向が続いていましたが、23年度は約3%の増加となりました。増加の要因は6月より学内の他キャンパスにある資料を複写して取寄せるサービスが私費(窓口支払)でも可能となったことがあげられます。

依頼(学外機関からの文献コピーの取寄せ)は、中央図書館、伊都図書館、芸術工学図書館が増加し、全体として約6%の増加となりました。

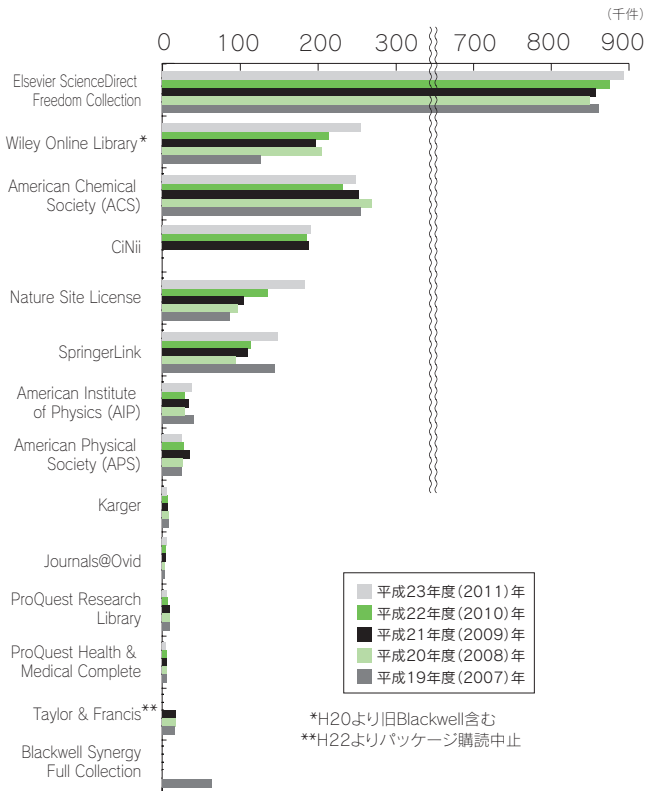
受付(学外機関への図書の貸出)は、中央図書館で1割強増加し、全体としても5%程度の増加となりました。

依頼(学外機関からの図書の借受)は、全体件数としては昨年並みですが、医学図書館、芸術工学図書館が増加しています。

電子ジャーナルと情報検索サービスの利用の推移

電子ジャーナルの利用

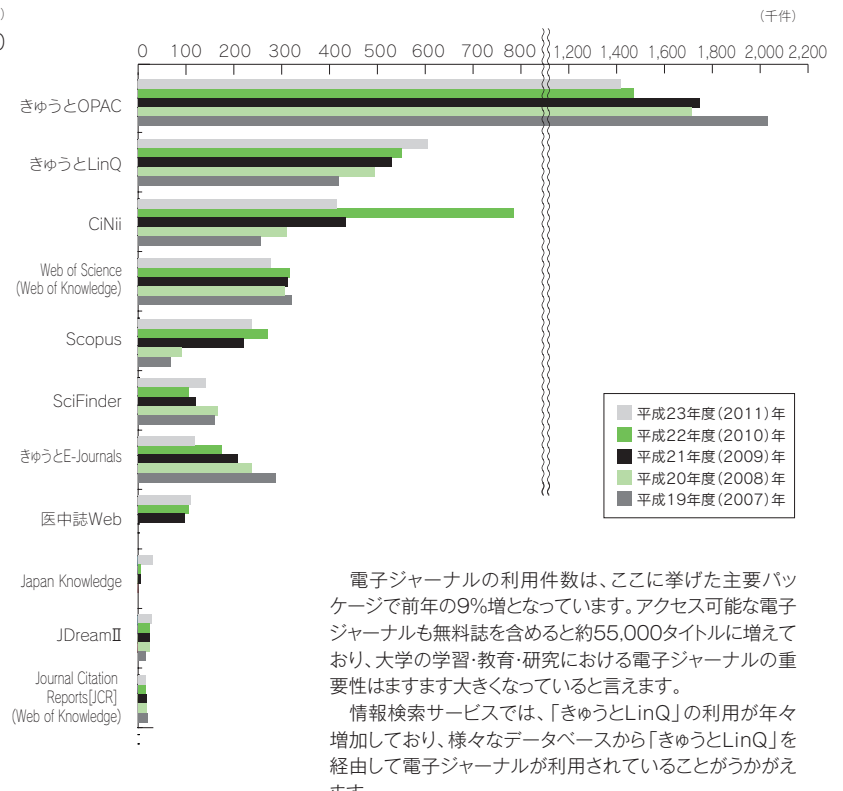
主要パッケージの利用件数



*H20より旧Blackwell含む
**H22よりパッケージ購読中止

情報検索サービスの利用

主要データベースの検索回数



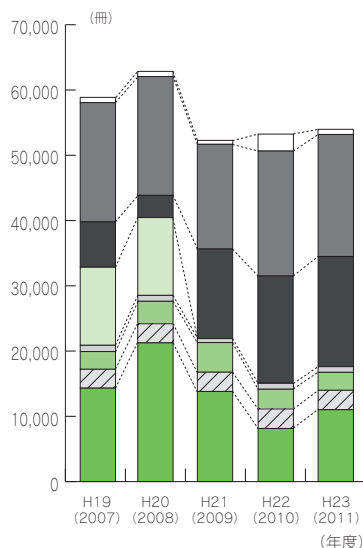
平成23年度(2011年)
平成22年度(2010年)
平成21年度(2009年)
平成20年度(2008年)
平成19年度(2007年)

電子ジャーナルの利用件数は、ここに挙げた主要パッケージで前年の9%増となっています。アクセス可能な電子ジャーナルも無料誌を含めると約55,000タイトルに増えており、大学の学習・教育・研究における電子ジャーナルの重要性はますます大きくなっていると言えます。

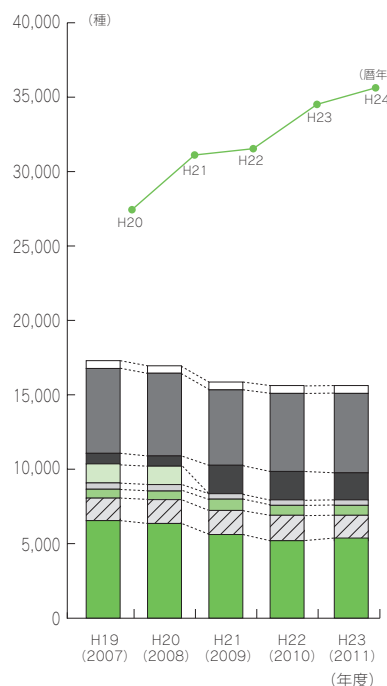
情報検索サービスでは、「きゅうとLinQ」の利用が年々増加しており、様々なデータベースから「きゅうとLinQ」を経由して電子ジャーナルが利用されていることがうかがえます。

資料受入の推移

図書受入冊数



雑誌受入種類数



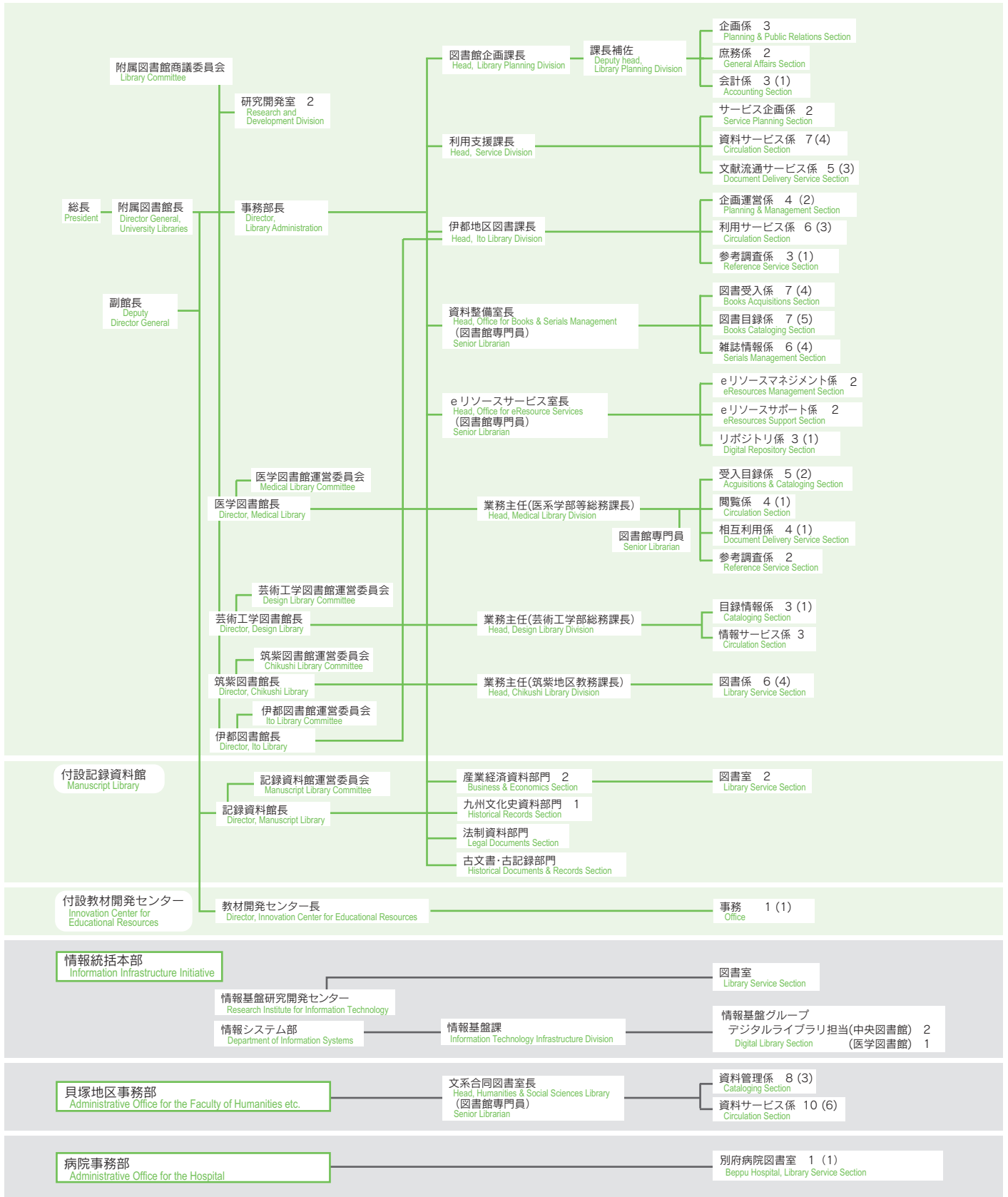
中央図書館
医学図書館
芸術工学図書館
筑紫図書館
六本松図書館
伊都図書館
嚙鳴天空広場Q-Commons
文系合同図書室
その他
電子ジャーナル契約タイトル(全学)

図書については、全体的には数年安定数となっており、文系合同図書室の冊数をトップに、全学教育もサポートしている伊都図書館の受入数が多いことがうかがえます。

雑誌については、電子ジャーナル契約数の増加により外国雑誌の受入数の減少傾向が続いています。

附属図書館の組織 Organization

(平成24年4月1日現在)



区分	教授	准教授	講師	助教	合計	区分	事務部長	課長	課長補佐	図書館専門員	係長/専門職員	係員等	合計
教員数	1	3	0	1	5	職員数	1	3	1	4	23	91 (48)	123

※ 専任教員のみ。

※ 情報統括本部情報システム部のデジタルライブラリ担当を含む。()内は事務補佐員で内数。

附属図書館長・副館長・分館長等

平成24年4月1日現在

附属図書館長	川本 芳昭	副学長	伊都図書館長	吉田 正章	数理学研究院 教授
副館長	吉田 素文	医学研究院 教授	記録資料館長	三輪 宗弘	記録資料館 教授
医学図書館長	吉田 眞一	医学研究院 教授	教材開発センター長	藤村 直美	芸術工学研究院 教授
芸術工学図書館長	佐藤 優	芸術工学研究院 教授	事務部長	益森 治巳	
筑紫図書館長	林 徹夫	総合理工学研究院 教授			

附属図書館商議委員会

平成24年4月1日現在

委員長

川本 芳昭 副学長、附属図書館長

委員

吉田 素文	医学研究院 教授	副館長	勝田 篤	数理学研究院 教授
吉田 眞一	医学研究院 教授	医学図書館長	岩城 徹	医学研究院 教授
佐藤 優	芸術工学研究院 教授	芸術工学図書館長	笹栗 俊之	〃
林 徹夫	総合理工学研究院 教授	筑紫図書館長	横山 武志	歯学研究院 教授
吉田 正章	数理学研究院 教授	伊都図書館長	山下 喜久	〃
三輪 宗弘	記録資料館 教授	記録資料館長	王子田 彰夫	薬学研究院 教授
藤村 直美	芸術工学研究院 教授	教材開発センター長	藤田 雅俊	〃
青柳 睦	情報基盤研究開発センター 教授	情報基盤研究開発センター長	近藤 孝広	工学研究院 教授
吾郷 眞一	理事・副学長	留学生センター長	石橋 健二	〃
柴田 篤	人文科学研究院 教授		藤枝 守	芸術工学研究院 教授
竹村 則行	〃		源田 悦夫	〃
太田 好信	比較社会文化研究院 教授		倉爪 亮	システム情報科学研究院 教授
東 英寿	〃		庄山 正仁	〃
関 一敏	人間環境学研究院 教授		中島 秀紀	総合理工学研究院 教授
堀 賀貴	〃		笹田 一郎	〃
土井 政和	法学研究院 教授		福田 晋	農学研究院 教授
渡辺 徹也	〃		南石 晃明	〃
稲富 信博	経済学研究院 教授		淵田 吉男	基幹教育院 教授
関 源太郎	〃		山崎 晶	生体防御医学研究所 教授
恒川 元行	言語文化研究院 教授		岡本 創	応用力学研究所 教授
福元 圭太	〃		佐藤 治	先導物質化学研究所 教授
中西 秀	理学研究院 教授		落合 啓之	マス・フォア・インダストリ研究所 教授
安中 雅彦	〃		西村 秀樹	健康科学センター 教授
長田 博文	数理学研究院 教授		益森 治巳	附属図書館事務部長

所属する図書館関係団体と九州大学の役割

附属図書館

国立大学図書館協会 理事館(全国の国立大学図書館 会員館数:91)
九州地区国立大学図書館協会 代表館(九州地区の国立大学図書館 加盟館:11)
九州地区大学図書館協議会 幹事館(九州地区の国公立大学図書館 加盟館:78)
福岡県図書館協会 副会長(理事):館長(福岡県内の大学・公共・学校・専門図書館)
福岡県・佐賀県大学図書館協議会(福岡県・佐賀県内の国公立大学図書館)

医学図書館

日本医学図書館協会 評議員館(全国の医学系および病院図書館・図書室)
九州地区医学図書館協議会(九州地区の医学系図書館)

人事異動 Personnel Reshuffle

(平成23年4月1日～24年3月31日)

中央図書館	異動後	異動前
4.1	石田 栄美 研究開発室 准教授	(採用)
〃	渡邊由紀子 図書館専門員 兼eリソースサービス室長 兼講師	図書館専門員 兼eリソースサービス室長 兼eリソースサポート係長
〃	天野絵里子 e)eリソースサポート係長	京都大学附属図書館情報管理課電子情報組
〃	上田 弥穂 国際部国際企画課会計係長	企)会計係長
〃	野田 達也 企)会計係長	芸術工学部総務課用度係長
〃	堀 優子 利)サービス企画係長	企)企画係長
〃	松石 健祐 企)企画係長	伊)参考調査係
〃	河上 章彦 利)文献流通サービス係長	資)雑誌情報係長
〃	高田 宏昭 資)雑誌情報係長	文)資料サービス係長
〃	香川 朋子 企)企画係	e)eリソースマネジメント係
〃	越戸 陽子 e)eリソースマネジメント係	医)受入目録係
〃	日高 環 利)資料サービス係	伊)企画運営係
〃	古賀 香 資)図書受入係	(採用)
6.8	井上 直子 (退職)	資)雑誌情報係事務補佐員
7.1	秋月 滋 資)雑誌情報係事務補佐員	(採用)
9.1	吉松 直美 資)図書受入係長	e)リポジットリ係長
〃	野原ゆかり e)リポジットリ係長	伊)参考調査係
〃	大串 彰 付設教材開発センターテクニカルスタッフ	(採用)
〃	栃原 幸恵 付設教材開発センターテクニカルスタッフ	文)資料サービス係
〃	牛島由美子 付設教材開発センター事務補佐員	(採用)
9.16	川元 亜矢 (退職)	資)雑誌情報係事務補佐員
10.1	日田 佑子 資)雑誌情報係事務補佐員	(採用)
11.11	秋月 滋 (退職)	資)雑誌情報係事務補佐員
11.12	原田真理子 資)雑誌情報係事務補佐員	(職場復帰)
2.1	河野由起子 付設教材開発センターテクニカルスタッフ	利)資料サービス係事務補佐員
3.31	濱崎 修一 (退職)	事務部長
〃	佐本美恵子 (定年退職)	企)課長補佐
〃	渡邊龍之助 (退職)	資)雑誌情報係事務補佐員

医学図書館	異動後	異動前
4.1	高原 秀典 受入目録係長	閲覧係長
〃	山崎 法子 閲覧係長	利)文献流通サービス係長
〃	下野 美幸 受入目録係	相互利用係
〃	秋月 和美 相互利用係	参考調査係
〃	澤井 寛 参考調査係	情報システム部情報基盤課デジタルライブラリ担当
8.1	塩田 麻実 参考調査係	閲覧係事務補佐員
8.16	井上 修孝 閲覧係事務補佐員	(採用)
3.31	安永振一郎 (退職)	図書館専門員
〃	中野由起夫 (退職)	相互利用係長

芸術工学図書館	異動後	異動前
4.1	秋山 勉 芸術工学部総務課専門職員	情報管理係長
〃	高木 宏美 目録情報係事務補佐員	情報管理係事務補佐員
4.27	牛島由美子 目録情報係事務補佐員	芸術工学部総務課用度係事務補佐員
5.31	牛島由美子 (退職)	目録情報係事務補佐員
7.1	友納 佳苗 目録情報係事務補佐員	(採用)
7.31	高木 宏美 (退職)	目録情報係事務補佐員
9.1	大瀧 礼二 情報サービス係長	資)図書受入係長

筑紫図書館	異動後	異動前
8.31	今林 安雄 (退職)	図書係長
9.1	沖 政広 図書係長	芸)情報サービス係長

伊都図書館	異動後	異動前
4.1	吉田 正章 伊都図書館長	
〃	野原ゆかり 参考調査係	e)eリソースサポート係
4.30	熊谷 由紀 (退職)	参考調査係事務補佐員
9.1	梶原 瑠衣 参考調査係	利用サービス係
10.1	北島 光朗 利用サービス係	(採用)
3.31	堀之口廣教 (定年退職)	伊都地区図書課長
〃	藤本 和恵 (退職)	利用サービス係事務補佐員

情報システム部情報基盤課	異動後	異動前
4.1	宮嶋 舞美 情報基盤課デジタルライブラリ担当	資)図書受入係

文系合同図書室	異動後	異動前
4.1	諸岡 静児 図書館専門員 兼文系合同図書室長	医)受入目録係長
〃	江藤 弘史 資料サービス係長	利)サービス企画係長
5.21	平良 香 (育児休業)	資料サービス係
〃	阪口 心志 資料サービス係	資料サービス係事務補佐員
8.9	熊谷 由紀 資料管理係	(採用)
9.1	稲員菜穂子 資料サービス係	(採用)
11.19	佐方 小弓 (育児休業)	資料管理係
3.31	島田久美子 (定年退職)	資料サービス係
〃	穴見 一博 (退職)	資料サービス係
〃	阪口 心志 (退職)	資料サービス係
〃	近藤 孝子 (退職)	資料管理係事務補佐員
〃	松本 晴美 (定年退職)	資料サービス係事務補佐員
〃	野瀬 陽子 (退職)	資料サービス係事務補佐員

企) 図書館企画課	芸) 芸術工学図書館
利) 利用支援課	筑) 筑紫図書館
資) 資料整備室	文) 文系合同図書室
e) eリソースサービス室	伊) 伊都図書館
医) 医学図書館	



出版物

◆ 附属図書館発行

『九州大学附属図書館年報2010/2011』(2011.5)
『九州大学附属図書館研究開発室年報2010/2011』(2011.8)
『きゅうとNEWSLETTER Vol.6』
No.1(2011.4), No.2(2011.7), No.3(2011.10), No.4(2012.1)

◆ 付設記録資料館発行

『九州大学附属図書館付設記録資料館ニューズレター Vol.6』(2012.3)

◆ 付設記録資料館産業経済資料部門発行

『石炭研究資料叢書 No.33』(2012.3)
『エネルギー史研究 No.27』(2012.3)

◆ 付設記録資料館九州文化史部門発行

『九州文化史研究所紀要 55号』(2012.3)

貴重書の学外での展示

資料名	所蔵館	展示会名	展示会場
『決決録』亀井南冥著1冊(注)	中央図書館	特別展「朝鮮通信使の文化的影響と日本人の文雅」(H23.10.14～11.27)	福山市鞆の浦歴史民俗資料館
広開土王碑拓本	中央図書館	文化交流展示「海の道、アジアの路」(H23.4.1～H24.3.31)	九州国立博物館
三国通鑑図説ほか約30点	中央図書館ほか	九州大学創立百周年記念・九州大学総合研究博物館平成23年度公開展示「九州大学百年の宝物」(H23.11.15～12.18)	九州国立博物館

(注)保存書庫資料

九州大学創立百周年を記念して九州国立博物館で開催された「九州大学百年の宝物」に、附属図書館からも、江戸時代の科学・産業の発達や海外への関心を著す地図や科学関係の和装本等約30点を展示しました。

貴重書の出版物への掲載・TV等での放映

出版物への掲載

使用資料	所蔵館	掲載資料名	出版社/出版年
扶桑名勝図「安芸国厳島之図」	中央図書館	週刊「戦国武将データファイル」90号	ティアゴステイニージャパン 2012.2
「うつほ物語絵巻」第5	中央図書館	週刊「絵巻で楽しむ源氏物語五十四帖」第17号	朝日新聞出版 2012.3
「竹とり物語」(支子文庫) 他	中央図書館	「九州大学文学部人文入門3 コミュニケーションと共同体」	九州大学出版会 2012.3
「機巧図彙」の内からくり惣図(桑木文庫)	中央図書館	「イントロ製図学」	オフィスHANS 2012.4
蒙古襲来絵詞	中央図書館	「日本の大合戦」 「日本のもと」シリーズ 「政治」 「図解 日本史100人」 「ライバルの日本史」 「週刊マンガ世界の偉人」第17号	双葉社 2011.6 講談社 2011.7 成美堂出版 2012.3 世界文化社 2012.4 朝日新聞出版 2012.5
牛痘小考	医学図書館	「週刊江戸」70号	ティアゴステイニージャパン 2011.5
五臓之守護并虫之図	医学図書館	「怪」33号	角川書店 2011.7
「痘瘡之圖」	医学図書館	「週刊江戸」94号	ティアゴステイニージャパン 2011.11
シーボルト「NIPPON」	医学図書館	「江戸明治遠い日の面影」 「彩色大江戸事典」	双葉社 2011.9 双葉社 2011.12
水木舞扇猫骨(国文)	文系合同(文)	「西鶴と浮世草子研究」第5号	笠間書院 2011.5
「訓蒙圖彙」巻七(相見文庫)	文系合同(文)	「旅するウナギ」	東海大学出版会 2011.7
「仙厓和尚」の書画	文系合同(文)	「日本の笑い」	平凡社 2011.11
竹取物語絵巻	文系合同(文)	週刊「絵巻で楽しむ源氏物語五十四帖」第13号	朝日新聞出版 2012.2
岐阜附近絵巻(三奈木黒田家文書)	付設記録資料館(九州文化史)	週刊「戦国武将データファイル」66号	ティアゴステイニージャパン 2011.8
「船法」(長沼文庫)	付設記録資料館(九州文化史)	週刊「戦国武将データファイル」70号	ティアゴステイニージャパン 2011.9
三奈木黒田家文書「石垣原絵図」	付設記録資料館(九州文化史)	週刊「戦国武将データファイル」93号	ティアゴステイニージャパン 2012.3

TV等での放映

使用資料	所蔵館	放送番組	放送局
日本山海名物図会	中央図書館	「めざましテレビ ココ調」(2011.6.21) 「ルソンの壺」(2011.8.28)	フジテレビ NHK総合
蒙古襲来絵詞	中央図書館	「発見!築紫の歴史 時空の旅人」(2011.8.1～8.31) 「タイムスクープハンター 3rd」(2011.10.14) 「みのもんたの朝ズバッ!」(2011.10.25) 「クロースアップ現代」(2011.12.8)	JCOM NHK総合 TBSテレビ NHK総合
吾妻鏡(樋口文庫)	中央図書館	「平泉 よみがえる黄金都市」(2011.10.22) 「世界遺産平泉 金色堂の謎を追う」(2012.1.8)	NHK BSプレミアム NHK総合
廻国奇観(桑木文庫)	中央図書館	「BS歴史館」(2011.9.16)	NHK BSプレミアム
二天記	中央図書館	「真実発掘ミステリー 歴史はこうしてつくられる」(2011.9.23)	日本テレビ
枕草子(十三行古活字版)(支子文庫)	中央図書館	「元気のアプリ」(2012.4.17)	日本テレビ
A general system of surgey, in three parts.	医学図書館	「歴史秘話ヒストリア」(2011.5.25) 「直伝 和の極意」(2011.6.28)	NHK総合 NHK Eテレ
福岡城下町・博多・近隣古図 他	付設記録資料館(九州文化史)	「未来への羅針盤」(2011.5.1)	KBC

図書館日誌 Diary

	全学・箱崎地区	医学図書館	芸術工学図書館	筑紫図書館	伊都図書館
H23 (2011) 4	28 研究開発室成果報告会				19 第1回伊都図書館運営委員会(書面回議)
5	10 創立百周年記念行事 第52回附属図書館貴重文物展示「九州大学百年の宝物:附属図書館貴重資料コレクション」(~16日 於:紀伊国屋書店福岡本店) 19 図書館職員初任者研修(~20日) 27 講演会「大統領図書館の歴史と役割」(於:福岡アメリカンセンター)	12 平成23年度外国雑誌センター館会議 20 第82回日本医学図書館協会総会			14 テレビ九州の番組にて自動書庫紹介
6	3 中央図書館図書資料選定委員会(第1回) 11 講演会「新しい時代の情報図書館学へ向けて」 13 CSI報告交流会(~14日) 28 学術情報セミナー「学術情報サービスの今とその先に見えるもの」	3 生物・医学系外国雑誌センター館連絡調整会		2 第1回筑紫図書館運営委員会 4 オープンキャンパス「九州大学筑紫キャンパスの歴史散歩-昔も今も学術交流の拠点-」展示	
7	3 九州地区国立大学法人等職員採用事務系(図書業務)二次専門試験 13 NII ILLシステム地域講習会 20 LSS共催講演会(第1回)「図書館情報学の現在」[アーカイブズ学とは何か] 20 学生用図書選定委員会中央図書館分科会(第1回) 25 学生用図書選定委員会(第1回)(書面回議)		14 第1回芸術工学図書館運営委員会	14 筑紫図書館運営委員会(書面回議) 15 第1回筑紫図書館図書資料選定委員会	11 第2回伊都図書館運営委員会
8	6 オープンキャンパス「探検!大学図書館」(~7日) 19 LSS共催講演会(第2回)「学術雑誌から電子ジャーナル、そして『未来の論文』へ」	2 平成23年度第1回医学図書館運営委員会 8 オープンキャンパス図書館開放			6-7 オープンキャンパス図書館開放
9	5 学部生・LSS院生インターンシップ受け入れ(~16日) 13 中学生職場体験学習(~15日 松崎中学校) 15 第4回中国・四国・九州・沖縄地区大学図書館職員フレッシュパーソンセミナー(~16日) 28 NII 目録システム地域講習会(図書コース)(~30日)	15 平成23年度第1回日本医学図書館評議員会	6 第2回芸術工学図書館運営委員会		9 伊都図書館学生図書選定委員会(書面回議)
10	13 客員図書館員受け入れ(ソウル大学図書館より ~11月30日) 20 DRF機関リポジトリ中堅担当者研修(~21日) 26 LSS共催講演会(第3回)「情報専門職のキャリア形成と業務-アメリカの事例-」	14 第59回九州地区医学図書館協議会総会 25 平成23年度第1回日本医学図書館協会地区会事務局連絡会議	7 オープンキャンパス図書館開放		17 第3回伊都図書館運営委員会(書面回議) 25 伊都図書館学生図書選定委員会(書面回議) 27 第4回伊都図書館運営委員会(書面回議)
11	22 LSS共催講演会(第4回)(デジタル図書館ワークショップパネルディスカッション) 28 客員図書館員講演会	25 第20回九州地区医学図書館員セミナー(当番館)			24 ソウル大学校見学団見学、記念品交換
12	16 研究開発室成果発表会 17 ワークショップ「全国遺跡資料リポジトリ・ワークショップin福岡」 20 プータン文化庁関係者(3名)来館 21 LSS共催講演会(第5回)「オープンエデュケーションの潮流」 22 中央図書館図書資料選定委員会(第2回)		13 第3回芸術工学図書館運営委員会		20 プータン文化庁等関係者見学
H24 (2012) 1	18 ティスカバリ・サービス正式運用開始 プレスリリース 24 中学生職場体験学習(~26日 和白丘中学校) 25 LSS共催講演会(第6回)「建築としての図書館、建築史のなかの傑作図書館」 30 イリノイ大学図書館(2名)来館				4 第5回伊都図書館運営委員会(書面回議)
2	15 LSS共催講演会(第7回)「デジタル・アーカイブとMLAの連携確立の枠組み-開発研究と人材養成-」 21 インストラクショナルデザイン研修	29 平成23年度第2回医学図書館運営委員会			
3	5 研究開発室訪問研究者受け入れ(~8月15日) 9 講演会「変わりゆく大学図書館-描くべき新しい将来像-」 21 トロント大学図書館(1名)来館 21 インストラクショナルデザイン研修	26 平成23年度第3回医学図書館運営委員会(書面回議)			

(注) LSS共催講演会 = ライブラリーサイエンス専攻との共催連続講演会「ライブラリーサイエンスの現在」

	文系合同図書室	記録資料館	教材開発センター	全学会議	関係団体会議等への出席
20	第1回文学部図書委員会			19 電子ジャーナル等検討専門委員会 専門部会(第1回)	21 九州地区国立大学図書館協会総会 (グランテはがくれ) 22 九州地区大学図書館協議会総会(同上)
25	第2回文学部図書委員会				12 外国雑誌センター館会議(一橋大学) 13 国立大学図書館協会総務委員会・職員採用図書系専門試験委員会・国立大学図書館協会新理事会 (東京大学) 20 福岡県・佐賀県大学図書館協議会総会(九州国立博物館)
1	第1回文系合同図書室運営委員会			1 電子ジャーナル等検討専門委員会 (第1回)	16 国立大学図書館協会総会(グランドプリンスホテル広島)
10	日経NEEDS講習会 (~11日)			22 新中央(文系)図書館検討専門部会 27 館長会議 27 第205回附属図書館商議委員会	17 国立大学図書館協会マネジメントセミナー(同上)
11	文学部書庫害虫駆除				
6	第3回文学部図書委員会	21 第18回記録資料館 運営委員会		13 大型図書資料選定委員会(第1回) 27 全学図書系係長会議	30 九州地区国立大学附属図書館ソフトボール大会 (宮崎大学)
8	第1回経済研究室委員会				
6	文系オープンキャンパス 向け開室				2 外国雑誌センター館部長懇談会(一橋大学) 24 福岡県図書館協会担当者会(福岡県立図書館) 25 国立大学図書館協会人材委員会(東京大学) 26 私立大学図書館協会西地区部会九州地区研究会(九州女子大学) 31 第1回大学図書館研究開発室協議会(国立情報学研究所)
12	第2回経済研究室委員会				
			1 第1回運営委員会 22 教材開発センター設置 記念講演「MIMAサー チを活用したシラバ スの可視化と次世代 の教材開発への応用」	13 大型図書資料選定委員会(第2回)	6 学術情報流通改革検討特別委員会(東京大学) 28 国立大学図書館協会総務委員会(京都大学)
28	第2回文系合同図書室 運営委員会			21 電子ジャーナル等検討専門委員会 専門部会(第2回)	20 九州地区国立大学図書館協会実務者連絡会議 (佐賀大学)
8	第3回経済研究室委員会			28 電子ジャーナル等検討専門委員会 専門部会(第3回)	1 国立七大学附属図書館協議会/国立七大学附属図書館 館長会議・事務部課長会議(名古屋大学)
9	第4回文学部図書委員会			29 第206回附属図書館商議委員会	25 福岡県・佐賀県大学図書館協議会福岡地区研究会 (福岡工業大学) 25 国立大学図書館協会シンポジウム(京都大学)
				19 電子ジャーナル等検討専門委員会 専門部会文系WG(第1回)	1 国立大学図書館協会人材委員会・秋季理事会 (広島大学) 8 九州地区国立大学附属図書館館長・事務(部・課長) 会議(九州大学) 21 国立七大学附属図書館事務部長懇談会(東京大学)
			16 教材開発センター講 演「オープンコース ウェアとオープン エジュケーション」	12 大型図書資料選定委員会(第3回) (書面回議) 25 電子ジャーナル等検討専門委員会 (第2回)	
20	第5回文学部図書委員会				7 国立大学図書館協会シンポジウム(東京大学) 8 外国雑誌センター館会議拡大幹事会 (国立情報学研究所)
8	第3回文系合同図書室 運営委員会	19 第19回記録資料館 運営委員会	22 第2回運営委員会	6 館長会議 6 第207回附属図書館商議委員会	13 福岡県図書館協会理事会(福岡県立図書館) 21 アジア情報関係機関懇談会 (国立国会図書館関西館) 28 福岡市総合図書館運営審議会(福岡市総合図書館)
10	文学部書庫害虫駆除				

平成24(2012)年5月発行

編集発行 九州大学附属図書館
〒812-8581 福岡市東区箱崎6丁目10番1号
TEL(092)642-4264 (図書館企画課企画係)

印刷 城島印刷株式会社

<http://www.lib.kyushu-u.ac.jp>

